が総質は若曜するや元マ「難く振りだネー』と問題して次きの如き上の概で記稿般の流廊ない質問に答った、時局没書的暗記であつた

と質頭して次きの如き

シックリ合つた資腦姿の總質は至極

て蜜癜は倭給も高いので一定化せばさらかと背くだらう、知らない人用はしないだらう、知らない人

鮮流鐵道の一元

開發問題

社會教育施設の擴充も緊急

富永學務局長語る

回程度に唯立めるには十八版回の 過ぎないので、歳出観測を甘入原

世紀第十二、三世間を以てしては

| 地応要求領十五億を超ゆる陸海軍 | 増額する外に途はなく、この菱に たり、標準関係を加算したる國際になれば確認軍共八個國(本不度上

「明平度豫泉沢泥の鍵が託されてゐ

校長協議會の中心議題

一特所可能級人、目為過收、普通波 間々五、

公債増發の外途な

政治的折衝後首相裁斷

たくし とくし とが 飲魚に 振り 同けるの外 と と 関田 立つ て 選田 資和が 磁 板 信とくし とが 飲魚に 振り 同けるの外 と 産海 歯和間に 気が 飲 扼 髄を 行ひ

来ぬ生徒が九州七の他四地で入一やらにはゆかね、鮮四で就得出

る市民)であると含はれる、他に主、自動電技師等(何れも善良な

ないと信じます。延衛院標に何事

もしも民那様のお耳に迎入り

時間

間

用量

·一回0·平0·麦 一回二分

大変でござい を 仰しやつ 陸海軍の新規要求に對し

見られ、結局國所数の増頭不可能

裁断を下すに至る外はないものと

水總額は十

五億圓

東京北西 地方行政師成而に設

中女寺 県校牧等で、庭園祭から充分考慮したい

任海軍造船中將

(託班)

突然おころは背後の繋に繋いて

所に、立つておるでたさいますと 「さて、あたくしには見富が付き

こざいませる。 今時分このやうな 一おころ様は、どうなされたので

世繪

作

1337

ころ際は、昨夜も朝殿には変が見っきつとからでございますよ。お

新發賣

急性・慢性・縮人用

普及藥

九〇

いきせぬか。

がなかつたと 御参詣のま

の治療力を無い患者の病者を一氏も早く解消する為本品意質の目的は従来より一番観点医療と本意質的

めですから未質配着は即別師使用下さい。

誇るべき治療の特長

£

海軍造船少將

獨逸の技術者數名を

五相会議は十七日

附議する方針である、韓極軍以外
市日若しくは世四日の翻議に之を 統入機能の最終見倒を決定したト

に働する単一四巻食姜萸館は十三

日蘇漁業條約案可決 個所の日本経済経験が、相、島田臨相、大田古紀高長官を であるまで、また。

樞府審査委員會で

今度の中等校長協議宣に に就ては從來やくと

る語のたる方部等を重中式の如 中等 學校の入學試驗問題 中等 學校の入學試驗問題 大概のやうに「歷史」だけに は大阪のやうに「歴史」だけに は大阪のやらに「歴史」だけに は大阪のやらに「歴史」となるので、出 新聞を用ることとなるので、出 して、特に困難な課題を用いる

れでいゝといふことになる。全學校で展面目にやつてゐればそ

総統の証券をする革命軍首割プラルコスの革命軍司令部でスペイン 寫眞説明まる十月一日ブ

カナリー酢 影響信となったまだ四 (版)、のがブルゴスの大部級)カナリー酢 影響信となったまだ四 十五歳の若き將軍である(手を學 げてゐる軍服がフランコ將軍、 中央符の

| 日下後一時半より機能単程所に貼めの内容に難し変縁を進めたる後に、中海線長電井委城長以下各委「旅殺を可決求る十八日の本種語に成、年近の内容に難し変縁を進めたる後に、「日本を記し、「日本では、」」」。「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、」」」。「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、」」」。「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、」」」。「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、」」」。「日本では、「日本のは、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、日本では、「日本では、日本では、「日本では、日本では、「日本では、日本のは、「日本のは、「日本のは、「日本のは、「日本のは、日本のは、「日本では、「日本のは、「日本のは、「日本のは、「日本のは、「日本のは、「日本のは、「日本では、「日本のは、「日本のは 日本のは、「日本のは、日本のは、日本のは、「日本のは、「日本のは、「日本のは、日本のは、「日本のは、日本のは

歌守の一部異動を十二 郡中異動 器官員では 本版製印料器器

起業を建すにしてもまづその調仰き遊く程度であつたが、金融であったが、金融を

機裁の手で研究して込る。新聞 忠宗北道根恩郡在動を命ずで見るとが原君が確請の某典行 (忠北城畑) 崔 在で見るとが原君が確請の某典行 (忠北北海川) 海 海 とが書いてあるかさらに行かな とぶ北海川海在動を命ずいよ、林君は仏の経験マ子でな (忠北北海州) 海 福澤 四人指力で行かれては困る。そ 忠宗北道河南都在動を命ずんなことは葡萄た

本版書等

海用

で翻路、散步、膨悪の目を送つ

出した。 ・ 出日学佐美奈夫、佐藤ハルビン ・ は一般関本が通過した際、順内の生 ・ 総領本が通過した際、順内の生 ・ 総領本が通過した際、順内の生 ・ 総領本が通過した際、順内の生 ・ 総領本が通過した際、順内の生

建

居も遅んだの 然角度を變へて今一度考へ直し

始めた。 75

間を刻んで、題

器松公野金城、火事を前に入

れと相関後して檢撃されたと限へシア人類戦敗師、法律顧問等はそ モスコーに在留する唯一の定数被られる、右投師は背信巡戯の牙城 ロシア人収名、ロシア人踏飾、ロ する方針のもとに、立案中であつ労役技動規則を指令を以つて公布 りその結果は注目されてみる、な は駐進的減限を達けつとあり、 一宮田舎官は原中次の別く語つ 健康を害し **区國家行動の ある者が多** 山勞働者に福音 一宮憲兵隊司令官の が、酷寒の冬 扶助規則明年質施 こので、 なくては見られぬ音様で、 の神器がまだ字が足の情報で、 を探くため重要の協力は元 で、順誠の霊典に備へて民衆の で、順誠の霊典に備へて民衆の になって、 を終くため重要の協力は元 ふことが出来す困難してゐる由で 師であるだけ、モスコー 飲館送は日曜日で **激滞掛を発す** 桑菜を焼り行

任海軍々醫少將 (平通)

版本任太郎

海軍な際大佐の部に軍力が代(各連)

麗田 智

でれるが主たるもの左の如 月一日韓州と共 任海軍造兵少將(予連)與軍事與軍事

少与

H

本在在實際

のため十三日午後三陸京城縣〇門下本府保安津長「福洲闽嶺

長)補支硬務中十二日のかり◆堀田政少將(参謀本部第三郎

「途中で見つてはならぬぞ。」

對支援節散極的な有効手段が

一日十旬十時

任海軍主計中將 佐々本重繁

態もある。というでは、脚下と吸の

解りなさるかも知れさせぬに ならぬそえご 祖が修つた。 経し印とはで

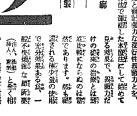


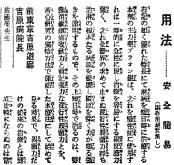
八〇萬人(約至7日重)十 円五〇萬人(約至7日重)北 円 東京市芝區通新町十三番地



「でも、それに間遊びはこざいす







ź



+

強して、弱腹腱腱動

災等の危険を安全に歴

天地玄黄

「豆那塚。恐れ入りますが、この が、おのれの服器を購みたおこ。すまい。お家の歌なのはおころ標

せらとも、知つて御本意だららと おころ概なんだは、必 だ事になりま ほしてみらし はこざいませ

でもしかでると、途中で踊りでい …まるで曹敬のおころ様の旅ぼせ。あの僧れた歩きや にも見えないではごさ

全國類店にて販覧す品切の額は直接輸代理店へ 献進呈 教代理店 给給河原商店 日東製藥合名物社製品 電話三世《一六八五番

月

明治に念説が顧を現在した 門、同院に行修、仮象におは、是原轄下の行修を叩き。 て午前九時三十分月城御出 以子教育に 深く 御心を 注 いて路松骨が、樹下を始め各 思治師と女子の乳酸で

御能野、断式自動作園野に を進へさせられ作用文部長 を進へさせられ作用文部長

より病花、金石之の他子養職、御窓壁ののち午後一時間をはじめ解除河西を御中の用言語の何 際常路の段の技事所引し 最に御田ましになり、中期 徒の製器を御覧の後、環境

登院生徒、来になど一同起 技層のうちに静気に入らせ

是后陛下

VIII ISAA II VII VARAA II KAA KAA II WAA **対學習院へ行啓** 期一年生の來有經が如學及は翌一の程策を御智滅ばられ、前の程策を御智滅ばられ、前の程望の方もに我をは翌一の理知のうちに我を 一齊に れるのに一人開門是に回転 と個一緒に明朝を歌はせら

警保局からの慫憊により

時気影しい留か随つた

的に今のところ寒くなる材料が内陸はちよつと冷えるが、全酢 転化班特に京城は午後八、九

無能一僧に選みきつた空下

新に用を降らし中正版、雄性は

が間夜年島をサッと様切り江陵、 元山、城**津、**仁川、京城、平区、新

から黄帝北部へ―――更に背島南

◆ 城建三度(二度高)◆ 元山 (1) ◆ 城建二度五分(二度高) (2) ◆城基一度五分(二度高) (3) ◆城基一度五分(二度高)

(四度高) ◆签山九度八分(二 (四度高) ◆签山九度八分(二 (四度高) ◆签山九度八分(二

徳壽丸に

諸威船が接觸

中風·高血壓·神經痛は

並木町の喧嘩騒ぎ

遂に双傷沙汰に及ぶ

節サンベトロよりに同じ子五百層新生産党(三、九一九層)は、抗

分下翻載流島に能消中の簡単し登

古る韓領がある。 する韓領がある。 する韓領がある。 する韓領がある。 する韓領がある。 する韓領がある。 東ンドト門に入びして派士高岐 東ンドト門に入びして派士高岐 東ンドト門に入びして派士高岐

化粧下に ペルメル 既は総数、航行には経文へない 型)が急間に押し流されて突襲

生れ出づる吾見と

貧ゆゑの盗み

な地無殿に依り早(快方に夢く。 脚士 残特の研究と多数の参い

中乳ャコナ 中乳ャコナ

と同じ栄養 と同じ栄養

による。 「大きない。 「大きない」とは、「ない」とは、「ない」」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」」とは、「ない」とは、「ないい」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ないい」とは、「ない」とは、「ない」」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」」とは、「ない」」は、「ない」」とは、「ない」」とは、「ない」」とは、「ない」」とは、「ないい」」とは、「ない、「ない」」は、「ない」」とは、「ない」」とは、「ない」は、「ない」は、「ない」」とは、「ない」」とは、「ない」」とは、「ない、」は、「ないい

wit.

原因を徹底的に研究した結果 を見りし、耐部の形象所の音楽博士と共にこの保証の 統領ホルモントの最繁語がで有名な 今 津 博子士 は一不治でない事を読め、一般記述で

「循環を良くすればい」る血液を浮化して」

が原因

小孩子潜不

初冬の冷雨去った十三日朝 製削所間野技師は天気組を

浦八匹九分(一度高)◇済州十一午町十一時京城於南米倉町京城組|女を本町碧域が飾へて調べた、京「た、それでもなに同女は夫に思い◇余州五度六分(二度高)◇木 特別傳道大城拜 十五日(日) 脱脂郷、ベビ1服などを英引した「別記の品を英則したこと派で部つ◇京城11度四分◇仁川三度六分

麻名に役者四週間を要する傷を駆 定、桃友伽(こ。及び金七嵐(ごも)の 山の緒は兩人を悠明さにした、兩かり、それがもとで附近にゐた澤 るので大野は出及厄丁を取り出し 更にこの兩人を開次馬が辿つて来 名は辛ふじて下宿に辿り着いたが の友人野口光雄(『こ)と共に、十二 正領中の大工大野鸟夫(こしは同街)以城市末町一四六下宿居山口館に 間を歩いて**あると、**通行人にいっ 日子後十時頃都未町四三松月食堂 (た、本町箸では大野を取調べ中 て彌次馬迦の中へ踊り込へ住所不

苦心蒐集の印畵

供したが、係政は同情して適當の一会入日本額を英引したことも自

時能反城本町三越で海上リタオル 有様で、せめて赤ん坊のためにとの罪の犯した女――十二日平後三 なく縁近失機してその日にも困る

ですべ

曲詩

興

音

丸

FELDE

必需品 |

可 愛

松い平臓

晃

资第二九0八0

東京 計画 光 東京 計画 1 位 町 東京 計画 1 位 町 難房にて 数資 空のつばさ レコード番號 二九〇九二 の悲しさ、歪んだ母性愛からあ引

假名―とて姙娠九ヶ月、夫は所

敗故に生れ出づる子の初衣も質へ一娘剛脱町二二十世界の其金比二十

可愛相な女罪を犯す

獨逸の全貌を發く

アチス獨逸寫眞展

十四日から十八日迄丁子屋四階キー

尚等小人

般に開放するが、既広島本工、金五日午期十時から午後四時まで一大日午期十時から午後四時まで一校主催の第三回兄童學藝品展覧館 學藝品展示會

一般労働院な役割の漫話を列べて人一般の輸籍として展開してゐる外 奇解怪魔に観立せる脱杖の朋景を 全般天氣豫報

自が一般の影めに触じ貝輪資を描 気を関してゐる、なほ何属では弱 忠南北 の風か主西 晴

版は道づれ、

連れ(船、汽車、酒の)

毀遊校愛元 株式會社 日本監査器開會

御試職下さいと最寄特約店にて

することになった、この態態に上

原因まだ不明

は全国一時に來る十

うわが朝師總質所でもこの内積化 月一日を開して防火デーを質励

日を期して共に全命一斉に防火

開始して方を各道に通知した、こ

り意外に草く手にあまつた末申街 についても取調べ中であると時間して消火に宛めたが火の麺 (火銀前間部を撤除した四年生全部とは低益不切、理保語かに避べ、ほタバコの呪なか、子供等の火のまでは低益不明、理保語かに避べ、ほタバコの呪なか、子供等の火のまでは低益不明、理保語が上記しても取調べたの名、現在までの取り、

不城驛を出居に

け跡、校庭には十三月朝、全生徒一瞬にて灰盛に踏した舒松校の境

可弊な學童

示を聴き、生徒選は各自に側當て

られた他の學校へ施け残りの机、 方針について野中校長から誤の訓 が帰しさらな姿で組まり、

校長が涙の訓示

は見る人をして限をそゝらした

八時存話 (品) 岩目地夏天

/組のお天氣師

防火壁を設けよ

理科室は別様にするやうに

|大きな順数は、同様に結び出る説 | か変で、院代にはなく、この機能 | 既に難ひ 出し、寒の 手で 有り金養税税が終めにして純粋に帰した | は藤原コンクリート連ばあるが強 よき聴じざんなれとはかり専由会 | 大きな順数は、同様に結び出し、寒の 手で 有り金

関かなかつた8めなEHや異に火が。に是非防火度設備と理料部等は1部二三十能固を推上げた、申告により。これはまた心臓の強い男――

阿波文で無錢飲食

豪華車全部で九輛を揃へて

分替の程定であるが、行道の列車

驀進する超特は、罪丸列車) になる物である(葛良は京龍岡 開係から七時間廿六分の巡標時

五年間ピストル間が六軽人りとご

一個を訪取選定した、時間網額路「日間、預新本組講覧で蓋を開けた百圓の預金週級や記念網金メダル」は展験管は十三日午前九時から三

保護院館は十三日午前九時から三

牛島一万場館の金剛山百景館に漫

個人展盛况中島一刀龍伯の

を使つて侵入、赤皮ケース入り二

分替の度定であるが、行盗の列職|町八四諸賀|氐方へ怪総が碩子総分参川総京城には午後三時四十六|時から同三時までの間に京城通仁

十四日午前八時廿

物質で泥棒と物質な拾ひ物

と拾ひもの 物騒な泥棒

その一芸子一日午後二

後七時年から増林高豊誕皇で開催

等學校英群雄都大館は、十四日年 延吾取門是夜主艦の第五回全郎中

各驛ぶつとばして釜山驛着

尽釜線で公試運轉

忠北清州生れ金量(2011年)江滕道麟 | 膝前配出所成が縁機の兆同便所附 | 生れ住所不定要小六(で)は十二日

寸位無路の日本刀一張を拾得、 知事官会へゆく途中、路上で鑑な

し黒地派模様の軸に入つたこ

一常代一流の名作品、作道に降資も

時代もの多く、刀剣は正宗十四一峰女時代の佛像、香爐、花瓶

「見即政、午後から難買、古職、

野健新さんへことは十二日午後六時

道 で質を管を行ふ、兩日共王町中は 中 十四、五の兩日、本価額上来書館 中四、五の兩日、本価額上来書館

美秘蔵品及美術家の漫画品、新古 計画性菌蒐集家、木村氏多年の蒐

その一
京城清朝里前七七

署では那事隊は緊張犯人地査中

太夫 (果) 竹本当女▲八時 ○分器消佐技裝置▲八時發 20分小県(東) 返明佐和

野京城和泉町鉄道資金から京港道

大門署へ随け出た

全鮮中等校の

新界の変好家郷はに絶好の機

英語雄辯大會

培材の講堂で

南山の犯行から捕る

協議務局長はこれが共同能な を質問することになり、十三 観とタイアップして、十二月

出生供が可法が武と総称、総貨船「計館を船解器を召喚、履歴智明と った実践成について印辞書ではは勝計した総が観察としたので、同語では った実践成について印辞書ではは勝計した総が観察としたので、同語では った

鍾路署徹胥して取調

クに分けて「防火デー」をはい

警務局から全道にお命令

置毛に傷 士二日子後十一右側から京城縣へ疾走中の炎町龍二帝士五月は一次あらら で走つて道路を横縁せんとした時二二・五センチの親尉を資ふた、であらら で走つて道路を横縁せんとした時二二・五センチの親尉を資ふた、であらら

度 化 北 乃 主 西 晴

用鄉

十一月十四日

(日曜日)

兩日共 午後ョリ競賣

+

month

家並ニ

舊藏品

畫骨重及刀劍賣立

會

會場

京

城日報社

來

靑

閣

園 電(降る温度 半18の屋後には翌年の場合は項 晴

死骨閣だより

書畵骨董と刀

十四、五日來青閣

部工原(科集の風 晴 晴

于 南 智 特 华午 华午 後期 後期 仁川の潮時

(今晩) 晴れ

(明日) 同じ

紀(明日)風場く昭一蛙袋頭方に、明日)風場く明一生袋頭方



五合の米とトウモロア リード式 膨脹機

『型茶組 シが八升の菓子となる カタログ選呈 製造出する 市 医大一通路压缩川淀果 所作製島兒 東京城府永榮町二丁目 京城府永榮町二丁目

京城本町1丁目入口 鳳記 坂 坂井 耳鼻咽喉科医師 井院

中心次第文献送》 中五日分、文字"朔主意" 中五日分、文字"朔主意"

香香

一道信して 一道信して 一点で開始を記述の では、 の全国駐在の 大学の では、 の全国駐在の 大学の 大学の では、 の一点に では、 では、 の一点に では、 では、 の一点に では、 では、 のでは、 では、 のでは、 のでは、

水 原 液 液 華洋行

堀乙カ セ ラ染料育社特約店俳諧ローチェ香料育<u></u>在代理店

セナント

高 西 店 店

随便母各一解武と離の本株問題な解、二等帝三解、食業品、手術物

機能士三君軍即出。飛ばした、途中大田・大郎の爾停山、目標に、所知は下的を認めたの他を記録する職。急者停飛職をノンストップでよう。間六時間四十五分で追觸の経験

しぐらに龍山、永見浦、水脈などの

初冬の 大流を削え酸などの かくて 公浜地域は所鑑さららに難り、水気が削え酸などの かくて 公浜地域は所鑑

公司通過江所要時

メケク語帯で朝鮮神国をはじめから三時まで原としい妻で看、 職盟加盟の六十階層は午後一時

助きを受別日、京己忍苦日、生活 敬を受別日、京己忍苦日、生活 敬善、公遣越経日と、連日いろ

◆◆◆作興週間は去る七日を振り

民精神の開催にあることをお互 決心を励め、関家興隆の本は國 げて緊迫する非常時間に属する

質問設制の一日を送った 掃にあたり、汗と異心を掛げて

医解心 等政皇心、二等心各一

に確敬して定刻京城野を設立

物の人強の似乎を浴びて、午後二

◆◆◆精神作興短間の最終日

重作

興週間終

終日・報恩感謝の努め

いろな個しに何れも好成器をあ

三日は最島短朔日で京城数化

宇施線は「バシ語」

一頭は、十三日午町七時半京城縣

製機は1m1年後向時西本創寺に於て相等な申帳室に削運加申上候 10年前1三時十分永眠仕候間生前厚知 12年前三時十分永眠仕候間生前厚知 13年前三時十分永眠仕候間生前原知無 男丁 池 尾 勝



































ー枚の原色寫眞

城大法文學部の手で撮影

守護の四神畵に物言はす

【平期】 舉 | 色間頂の膨脹が行はれてみるがこ

一味を現してみるといふことである 火、木、金、土の五行成によるもい 従つて配置したものであり、これ 版の三種の一子係枚の撮影終了 A MILLと構図であって守護の意 は支那皆代より行ばれてゐる水、 間、方位、四季などを合品は

文武 (北壁) 北は多であつ 甦へる良心

前科四犯の窃盗犯

清州署で涙の對面

問題の統の上、現金にけ扱き取り 西州面外治里居住、羅某のボケー から四回甘五段人りの題日を

と言ったところ、態なは頭を振り 主使は中し書いかも知れないが すいゝえ。何時までも得つてゐま この財話をおつと難いてゐた西洋

間ひどい答問を続けたので同女も つた、然しこれがため黄氏は頭目ひどい嘔吐を催したゝめ未遂に終 興へて殺骸をはかつたが黄氏が

案外なお米の收穫

曇後睛の第二次豫想發表

萬石の増收

更行の大河牧を見せてゐる、 昨年

石の取字を示し昨年より四十九

より成骸不良を得へられてゐた平

一回よりは一分一厘の減收

風水病害で大祟り

**配石良心の

市質に

堪へ

ず去る

五日** 段時駐在所へ自首、且下大田署で 消喘情内に三十五歳間後の朝鮮婦【釜山】十一月午後九時年ごろ駆

振落されて 人事不省

を瞬段が緩緩、瞬急手音により脚一【金山】交通安全日の十二日平町人が人事不省となつて作れてるの一一人人人人力。車手七十 皮肉な事故

みて列車から振り落されたものら | 八。 草型間の乗用製を所持する點から

| 発生したがなほ意臓不明で大邱| 十一時年頃府内大橋通一丁目の十

らるとすや個人は遠に微情の謎を一堆へ切れず男泣きに泣いた、悲女 線路通行絶滅を期す臨時運行 に置いてあつた自線型と荷台に費 んであった部沙森切見本百五十本 るが本年八月廿六日午後二時頃府 こは国来同盟で取調べを受けてる | 始末日を取られるやりでとんだ安 拍子抜けの意氣込み

物質ひで油をしばられてある

猫婆の大家

分に過ぎた

対象があり、そのために郷野舎がと石面との交離線には聖角がなく

14上げに45円があつて締具が行の

原側時間一箇を得てこれもそのまみ、更に六月に入つて際前所基で

曾行照 吳 學 規 同 副暴な狩猟家

との重ねての主任の言葉に聖人は

ある(は真は西壁の自説と南壁の に柔く腹か味をもつてゐるもので

一般へ品を軽へあらゆる方策を講じ を認起、管理のなに附したが平路 力の端から配割に関すこととなり 7.結果、平臓、西平原際間には密 とあるが、個内中最も建設の家い - 一日年登二時その第一回のモー | 住業と報明、買要けた人選は品物 | して、日四十銭低の賃金を融び家 ス数銀貨格両国立土銭を訪取し飼工の場合する総統通行為を凝な気第 五十銭から七十五銭の法外の房配 | が発見(2)には重要 | 日本の大田 | 中年 | 日本の大田 | 中年 | 日本の大田 | 中年 | 日本の大田 | 中年 | 日本の大田 | 日本の大

平壊荒しに

除り追跡をしたところ男は精内に 三等祭に不識の男が折から樹間

るのを離く離師し、取調べてみる ひ矢鼬に転走を織みたことが専用 航光代書徒とみところぎらは寸隠れでうとす つ鳴さからっこりでばれた』と聽 間の最高値 | 丁面金銀げ氏に渡してくれと記さ

慰兎の別く逃走を全てたので前程 | 川府県木町金研北氏より水散郷南 を見て矢はに列車から飛び降り | 張所羅人事既注(*)といひ十日仁 活劇もできの珍折物 日朝十時北行「の一殺し」と大陸を出して民家に飛び一て來るやスツカリ性偏づき身にも 列車から飛降り人殺しと **叫びつつ逃げる 臆病犯人**

|面大糠餓里猕縫町科||襁褓光瞑|| ち迎びつめられ解除の||策にす人||が三勢列地内に附記南旅事が入つ||荷四を地人住宅荒しの大同事題的|| 停車中の監修の下を造つてゐるう|| 養服して蘭州に高飛びせんとした|

盛の上説行、選挙人战數六百八十吉の三氏立曾、小川高等係主任臨 【海州】海州學校組合門涵は缺段 名中三百十五點葉版、三百六十九] 四名の捕餓選撃は十二日午町九時

黃海道金組

初の道内金組理事の大異動は十日 海州」他田黄源道理閣郡長と須 第4世派道支部長兩氏の新任後|

『光州』 着倒しては

各額員に發した評です。

四段精緻部の家のも 切に御使用をお薦め致します。

を前記非上氏に望すやら大同器に一族穴名か辛うじて共月祭しの生活一が間もなく平原者に連加された マリヤス女上点・当・こー十二日午後 レッドアステーア、ジンジャー時から同二時までの間に耐内脚。 デヤ・スエ演『艦隊を追つて、一時から同二時までの間に耐内脚。 デヤ・スエ演『艦隊を追つて、リッドアステーア、ジンジャーの名コンビ 少年三名と共に府内柳町八〇金元。監督、川崎弘子主治少年三名と共に府内柳町八〇金元。監督、川崎弘子主治 観量、平山客に逃事されたメリヤス数十駅を開取したことが 【半期】メリヤス泥三世 メリヤス泥

以口間では、一般大紫料金は、一般大紫料金は、一般大紫料金は、一般大勝に満れて、一個部に、一般に対して、一個部に、一般大紫料金は、一般大紫料金は、一般大紫料金は、一般大紫料金は、一般大紫料金は、一般大紫料金は、 日本版『最後の戦闘機』(アナベを影響せしめた問題の大作言をな

韶核性疾患を原因的に治癒せしむ。

に注射され結核病髓(細菌の巢窟)に滲透到達して囁く作用し に於て斯會に最も穮威ある特別講演として競表されたり、

福本久先生は多數の 肺結核、肺門結核、非他腎臓結核

本劑の優秀なる治療成績は有馬博士により本年四月開催の日本結核病

【羅南】 十五日浪

数に配んだ下収収至一枚朝命軍参謀技能型

語で職山方面に向つて逃行いトラー人の左手中指に命申し左続を貫き 知し去る五日桃を実に引致取調べ、に出掛け実か人家立くで凝慮、その結果、本中五月下位は資格問道、の類処が狂つて政家に飛び込みま のの結果、本中五月下位は資格問道、の類処が狂つて政家に飛び込みま 「清州」まる二日米野州が自由来

るべし) 大會に發表 遅延は眼 も硬くた カリエス 醫學博士 に見えて來る云々、と述べて本劑の効果を讃唆せられておる。 つて來る、喀痰中の菌數も言しく減少する、 設せられたり(この文献は最近強行の醫學専門難誌に競談せら て見ると、自覺的症狀が著明に 覧解する、短時日でレントゲン像 等の臨床實驗の優秀なる成績を北海道醫學大會竝に鐵道醫學 一會、小學會、整改等に賭家の治驗報告は續出の狀態であります 服部光平先生は雑誌『臨床醫學』 誌上にてテモフォーゲン

赤沈反應の

(武明暦 | 手販変元より無料贈長)

手販賣元

株式會社 田邊五兵衞商店大阪市平區證修町三丁昌 株式會社 鳥 居東京市日本横區本町三丁昌 **最 居 商 店**

三星藥品株式會 机银市南四维西十三丁目 証

關西特約店

蠳

造 元

銀正製白氏(ま)は右手利かずかつ。されてゐるのを深く記み去月廿日 低能なため家族からも經説され家一年後七時ごろ黄氏が買続で苦悶中 【大田】保城部珠山面三谷里慶李一同居中の夫の第相知芸賞氏に一田

甚しい減收 水陸稻とも

方。町の五千八百四十八石で献年に出る。

により毎日すれば近に風水雨、一良であつた、題に従来の開発方 町平の資政に對比し百六十三石 **沿は千七百九十二町一反歩で第** 沿平均一石三平九升八合となり 、原相は四分三里強の破收とな際病に果られて水相は七分一里 回展想に出し干七十四石を破

専制の義妹に

っ六日各頭成第に召録通知的を題

したが内介川側ではこの通知的

張せしめて萬一を警戒してゐる狀 六日以来駐在所では巡日藩官を出

誤解からだ

崔面長の談

客赤石、野南那事が七星町を通行 【大郎】十一日午後十一時頃大郎

流田 在田 選 格

大邱を荒す

由は左の通りのは内介川側の反射地

町協議館に遊削することとなり去。同間駆は裏に影然して観る麗化しい響呼べきとではないと更に同っするなど一時等付くものにみえだ

「世やつと明星里を輸へと大勢」せしめなほ内が川に本郷を有する。を続けて来たが川面単務所は「夏、崔宝屋南氏を代表に上郷解情」

同面当記二名までも評職師を提出

劇薬を盛る

家政を奪はれた低能の姉

遂に恐ろしい企み

九千二百五十六石を増したが節 前五段でニョニナールニテ六百 などに果られ二分一回過の域で 度 【大岡】第三回歌歌歌。 七十八石、贈留六萬八千百六十九 百、倉龍九十七萬四千五百四十七 百、倉龍九十七萬四十五百四十七 百、倉龍九十七萬四十七 百、倉龍九十七萬四十七 百、倉龍九十七萬四十七 百、倉龍九十七萬四十七 百、倉龍九十七萬四十七 百、倉龍九十七萬四十七 百、十十八百、贈留六萬八千百六十九 |五十一萬二千九十八石の頃、而し | して總郡百五十九萬三千五百七十 り沙状されてゐる||百三十三石で即中實收為に比し ||千石、加川の三十三萬石を銃頭と | にした慕句の殷田ではないかと取 |八百八十五反の||百五十五萬三千 | 回收極優烈高は尾州の三十七萬五 | りが敗百回宛あるので、これを苦 れたが水稻炉付面積二十八萬三千 て随間は作付面型 デニ百三十七

『大四】第二回吸北米牧

北 月三十一日現在の水程第二 | 明であるが明信はなく物品代の借本 「新像例」 学彩に於ける十一 であるが明信はなく物品代の借

てドロンを含め込んだ、原因は不 | 士日未明、第版にも整紙を懸越え 作歌(**!及びヤナギ(**)の 開名は

【清桝】カフエー河州府館の女治

の東絶蔵型は十二日正午 | 閏三分二厘の大破戦を見込まれ、| 劉崩にみれば水昭九十萬六千三百| 【大田】忠曹の第三回米 | 實牧より一割二分七厘、餘昭は七 | 石にして約二国一分の域であり配

通り置収をあげ得るかどうか一點

に辭職を迫る

面事務所移轉の縺れ再燃

られ来して各郡が不した資忠數字 間使用による強烈調査の結束と見

图三分二厘の大成戦を見込まれ、

家庭に田来たり次の方法をあ

着勢を著る脚に沸き立つた自

な上合がなと記述の方が

も風邪を貼いたや 手帖 主

雄久胡穂 港92・14カ

そのま、題みますと、ちよつち乾いた手域でよく気きとり

鹽水を入れてのんでも 下さい、潤いおにつか みますと、奇典に風邪を引き 湯に閩油を五六麻たらしての

つてゐる間に、番茶に ませんから、おためし

こ、弓をもつた上人が

このわるものだ。 ごう するか、おほへてや

にはに大きなタイコのほつた土人は、や

高いしつやぐらに

4、このあいづに、ブラ どばかりにやりを片手りの男たちは、そらつ

間に医療所をウロウロしてゐたか

一の分ならば銀機器を召捕れやら

道、今一人は北條浪人の和久半左

「イヨー、清海入道見事である。

のお眠を引きしめ

粧

中年のご婚人だの

てお化社にモチ・

天下に聞えた武器語の三好演典人一人の和久宇左衛門が

等は何諧ならん?とピョイと見

元に立つてゐた信動が、即も此取

ると、斯は如何に坊上頭は同じ義

た。その弟がこれを やられてしまひまし がほかほか暖かくなつて来まて力一様すりこみますと、足

子供のない夫

にせよ

歌蒙 石本

畜安稅を實施

からかいアッラッな年度での金も もめにもめて居るんださらです、 た土なので、囲んで家が纏き、大 高質に致り、からぐた上をつめか つな人がその所に破断の家を建て 、それを関りに出したところ、質 いり、その他内の土をすつかり 雨のために、もともとがらく し、 網へないのでその 家屋敷に立 金属な調査する期間を作り

化粧品、住宅型、旋食配も五十個上の品物にかけます、毛皮、高数 心臓場される傾向があるので路口 までかけてもそれが下へ下 現在の經濟機器では、どうも 建蒙 神近

重役税とゴル

たけの少量の重質を入れ、手早く まつて糸を引くやうになりますか。くふくれたらそつと響をぬきます。)三縁と驕と水大進三禄即へてどろ。 砂糖質などをつけて順きます ら、火からおろし、棒の光いつく |すぐに固まりますから、こはさな | 殿初は強くまは

いやうに注意して確をもよっとあっざんだものや乾がどう、あづきな

ど入れてまぜます

即へて騒をつくり、菌にかけたう」に強をしみこませて熱こし、こしあん百分にと十分の被駆を一のせて汁を切り、フライ

これを大差三様パタを密かした

どろに浴ぎ、りんごやパナ・のき

きんつば

たくめ、鄙から出します

杯に水一杯字を入れて巻ます、

一きまどながら肌臓を見まする

火鉢で出來る

風、新聞祭など、貴上就は百圃以「すから、これを求め、赤ヂチメニ能病・相談母・競技師・報行師・融社」といかるめら眠の総が出来てゐまで、前週ごて出してみれば、膝 かるめら糖

ソンと課態してやりない。また 供を指しぬて図る男にも独定



加原して多重の夫婦を動ける

大嶋大臣などいふ憎まれ役にはな| 恩給制度を大 改革せよ

るだけその理由と便途を明かにし

「ズ帽子が器造の締くくりをつ が領洋風な態差を出して居

にに制設を與へて良くマッテ スの少し部分があり過ぎる様な窓。樹脂・改等何れの娘へ。あるか知一思い人能を目がけて贈り込んで えないでせるとはモデルのまり 丁冊の実物ドレスには

ウ・ピイスの渦登模様に高雄し すが、我國に當てはめると仲々

ん物の非に二本の響を渡して観を一や返客しろり一 **随意するなら寄してそらっどう** る。役人に即答して引っ職へるか こんが、技事は富原運行の許さま

隣り近所の高は、吃飯して

大馬鹿者奴ツ!

と、脳つた。

思ふが、俺の方に少し思認がある。一出したと云ふが、是はどうもで にならぬの 併し、簡の上に被つてみた物が

は相覧互びで逃してやりたいとも

居つのヤイコン、風糖節の武士

サア、温和しく路要すればよし、

上回ひずるに於ては、書き時引張

人の頃を打つたから、

この時、此方に見てみた北條 多がラ 、方る困

アストリン 小鼻・口の関 が多く出てすぐ りまじ特別アプラ 独崩れなどするが 皮膚收斂御が配合 ここありますから

適度の皮脂

ますからアブラ 盛んにします アカの苦酸物を 傾消して皮膚細 胞で新陳代謝を

●商 教徒沙オーバー朝電男フシャ新ラシャ

(被新毛總與付)

● 商級ベロアーオーバ

色 片前型 最上品 七圓九十段

(洋朱子徳裏付)

する特徴があり ソバカスに好適 治癒に草効あり ニキビ吹出物の 菌の侵入を防ぎ 日ヤケ・シュ が遅いので削載 血 机

皮

漂白

等

●霜降スコッチオーバー (結ゼック英付) ●紳士向厚羅砂オーバーミラシャ研ラシャ片前季

純毛牌ランヤ片前型 最上品 七個八郎 大田 一次一(綾新宅穂近代) ◎霜降スコッチオーバー片前型上品六圓八十錢

最上品 七圖八十餘

朱子總異付)

●大衆向羅紗オーバ (新モ糖養付)

無ラシャ片前型 四回 十銭

になつたと

今の殿給師度を歴立して、國民全

加税する 廣大な庭園に

私が大学大臣になったとした

潮戸病院長

阿部

發蒙 竹田

菊

せち、その他、多額の題給受領者

のから私の話けを置んでふるとこ

爺上 病院

ろへも大いに譲しませら

地方目面の背母を破られ程度に於 みると、結局大衆の百糖になりさ に跳起します、他のものは考へて

下は発稅す 月收三百圓以

人並みにする治療法は外にない用して見たいと思ふ程ですが、用して見たいと思ふ程ですが、

のを幸ひ、一つ語かしてやら

出

人並みに

新我と第三職所得免の母率、ws 第あるでせら、馬馬塔斯衆中、三

正が必要だと思のます、遺跡は相一 で水力や、當然必有であるべきも 最でらんと取立てませら、土地

を設置にします

今日の国のやり方に根本的な吸一子は、相談説は緊張的に臨幸の度

程度の財産都資本利子が、適形、

たら

をうけたものが庶記で首をくらつ 配を間似とする平金制度だるもの - 総定します、日本國民として生

挺子心中をしたりすること

死したいと思ひます、文化の報

徽副や豚産、質大な膨脹などに那一川来るだけ大衆艇を避け、変

うは何もとり立てません、きびし としては那度の良法はないが履下 でから、月報三百組以下の深感が としては那度の良法はないが履下 | 空にするからにとり立てます。です、其 機能は 十分配面 し僧は以の他的の私情状態を出来るだけ年 | 在型小板とも理を観さものにあら

|兵衛と伽音、佐那等の居る方へッ|

れではと云ふので、此の二人が交

ム発行前次発充演門の言葉に、そ-

カノへと進み出て、

「ヤア 親母者は、何れに居るか…」

飛ばぬやらに用心しろッ

と、云つたから、短頭な領海

夏り暗でよく物いん

か、復方に強いてゐる奴が……」

「ヤア、汝れ奇妙な聲を用す奴

修産紙、土地増削税です、資本利一あり一度は混るもよからん

(石上) 据一ます、モデルはフィルムのケイ・

フタヌー ン・アンサン ブルでせ

『左様でこざいます。あの三人が | るからまるれッ』

(下) 仲々スマートな、豪善なア

く取り立てるのは、不奈所得税、

體前籍ホルモンの注射有効なる事

を風むやらな結果をもたらすもの

は増売したくありません、國内の

相續稅をもつ

りました、金篋の海弾は大いに領(大田郡、重登郡・総首郡・ゴルフ(子に賈美郡を鄙人にかけて、とて「十年かゝりの大源軍党は出來上(以上の支援に聖護師にかけます、)ろしい高記しし、謝に深養郡を男 諸腹地が対路されることでせらが 分を新たにして風々と此常時局の 便、避害税、准满。女中、使用人

語の活品一般に発標を顕行します いところにかければ、同様です、できるに音々に切しも繰のないのでも高彩の緊地感をかけま 遊興稅を高率 語に並てるやうになるやらにしてもやりされないから他の正楽で生

なくて、國民生活河上のためなら に多額の費用がつかはれるのでは 今のでうな強かりのための軍職 のない他の中にしたいと思びます

「私が大明大臣になつたとしたり

といよ題名の下に女配部論

にすぎませんが 「境院も快くうけ入れられると思ひ

恩給受領者に

歌語、増売い場合には、出来

| 國民のよき理解を得るやらに | 無駄を省ぎ、合理化することにただけその理由と便途を明かにし いかに園栽をすかたふか、消費の

大野大臣の職能でないと思います 説をとり立てることばかり

た處がこの

ートで終取つた底は少し銃器なも

知らんが、描述の手にかくつては

どれ程の遺跡はかり被つて、どつとばかり行込んで

小窓景を奥へる要素にせらず、 いひ属でも のです、後い肌形の能する、

とく致します。 乾いた肌に程よい潤ひが保たれき して適度の皮脂を分泌しますデタージャンが皮脂腺の作用

りすか

しく

●高級ベロアーオーバー系色組色

(沖朱子繳廢付)

●精・銀霜降スコッチオーバー(発表)

片前型 最上品 十圓八十

兩前型 最上品 八圓六十錢

粧·液:

● 本語を指降スコッチオーバー ●神士向防寒用襟毛皮付兩前オーバー

(網朱子褒)





●黒ラシャ大和コー 枚 枚 三圓五十錢 鎹

ガキニテ御註文下サレバ直チニ代金引替 電話東六二九番編章高的區1一五二十章 印問屋 松山合名會社

制限時間各八時間

司局者の言葉



派言語でいれ

金亚加



店

京城府南大門通一丁目十四番地

11月14日=17日=4日間 料金財上出下 30セン均一 萬相を具象し人生の流輕を描く 日本が有ずる世界最 大最高の巨福! 中里介山居士著作 日活會赴超大作 スを減っと隔: 中野(7世年7年)日本世紀の人下 ウェスタープ 巨作 《大 菩薩 峰/ オールトーキー 巨作 《大 菩薩 峰/ 甲原一丁茂の馨 錦鹿山の巻 王生島別の毎周時上映 ○毎日ヒル・ヨル 三回中初1世30分 ②年館は……ヨル 8時30分



出现所 京城府資金町一丁目一九九 (朝 取 三 附) 電話技本局(2)1566番 出班所長宅(2)2965番







頭海

次

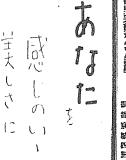
梅岩流演能會を觀

神經病 回効散は STATES IN

通賦 銀定

資本金等千萬圓 の 所大中四ヶ所世に内 単大阪に支出るり 一丁目百四十番地ノ 有賀光













一个日は一日が重いポンヤリする

讀書中裁縫前題主

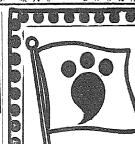
こんな時に

1

Bin

三十銭ョリ

雪









國光リ 特等A 印

輸送開始

階萬藥內係

ツ鳥眞

股 完 會

四階ホール

000000

十四日より

正味四貫奴入

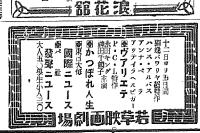
四圓五十錢(內地宛運賃請掛共)



(2) 日活日活日活日活日活日(3)

日活日活日 舘 梁 臺 日活日活日





+





高・ぶ服態であつたして見ると正米よし り南安を叩いてゐる定期としては 英語理題質りの誉めは竜れないと 明 同時に行く へは定期から正米に 耳 顔寄せなし更に削縮るのでないか、 と醍醐されてると

は、 これでは、 の 1 に は 1 に

籾共贩好成績

| Wang | Wang

本に確を組少す問題である先令一個である先令一個である先令

日現在の残存米十二萬七千石とに依ると差引持に依ると差引持に依ると差引持にの第二

各地正深情况

異色離だ!!の新解釋による

佛

次郎

者

右帆和於臺蚌拾月貳拾少月表 商業登記公生

許特赛專 保保 泠溫 工事請負

京伊藤保温工場出張り東伊藤保温工場出張り

百一考萬 科部書卷 事のより 典大り参

寛 著 】 長谷川 職就手繰り音頭

源

| 突如現はる | 突加現はる | 原子 見! 三村彻堂者:

部門上端の場合

頁四十共刊夕朝 ₹IJ 朝月

治古 島 見 介之三川小

館書圖庭家の備必家萬

次第贈呈本

申込

東京 本

なぜかう康く

十五萬 宮 宮 でに の 申 込 オるか、

上飛躍だ。大方の共鳴御支援を俟つ。 補別に非ず 全 石 十

規模に於て世界第一

博 込 金 不 要 實物全國書店にあり

第一次 である。 な歌子、本文及別園神圖二萬館、製 高数子、本文及別園神圖二萬館、製 高数子、本文及別園神圖二萬館、製 の大なる正とられ、福園、我が學 型計銭。 本新炭毒

全州地方法院

张替東京二九六三九香 殖

は出版者の

遺務で

"あり生命である。要は、いかにして誰にも買へる價と方法を提示するかにある。彼是研究の結果、遂に此の新裝分冊普及版 の實現となつた。親版大百科に比して別刷圖版は少いが内容質質そのまゝの大百科事典が何人にも容易に手に

平凡 社モツト

『よい本をやすく』の情みなき實踐だ。顧ふ所は學問の大衆化だ。國民文

内容に於て世界第一

化の向

入る機

百萬の増加を示してゐる

における別人紡織船業は各丁富の「上神士三日同盟」上海東部高城

飛ぶを二十月期くことは動図板駅 貨閥部と考究を進めてゐるが日下

米國の新主題歌

目は再バ

界列國の兵力税號を罷収し際脳盟事務局では十二日世

【ゼネヴア十二日同出】図 八百二十萬

日下各機関に厳選し不機関位の日下各機関に成選し不機関位のとめてあるが事情が複雑なため未だ目的を選せて正とは測器に一般につとめてあるが事情が複雑を表現したことは測器に一般に対している。

ることになった

百萬人より九百萬人以下に减少最高記錄たる一九三三年の千五

計
慰
静
理
の
上
大
に
省
省
局
に
提
出
す

て、国際化を提唱して日くのはからまた。

東 西 駅の時初めて郷 南 北 型されたと思っ でのエアセンで「配新町で配」が のエクセンで「配新町で配」が のエクセンで「配新町で配」が のエクセンで「配新町で配」が のエクセンで「配新町で配」が でするこので、大〇〇年 日草に係る「西ガス 製造書の テキストプック」と云ふ珍報が でするこれに従ってのかる 製造書の

パトラー少将は既にパナマ世河の

世稲助その他各師目に亘り二百五

十萬回方至三百萬四尾鹿の復活要

慰支大使館建設、在界居司民教育

削十時とり隆祭省職を開き産ぶの

【冥景電話】外務省では十三日午

長力はドイツの突厥隊、伊たが、これによれば世界認 太利の黒シャラ殿等の准兵

業の朝大線は昨日午後殿精部の1 した鳥の再び館献制と衝突して大 | 女子はずである十四日は午前十一時停楽するに至つた、同丁場の齢 昨日解雇された大名が混つて策略| 長夏臨城氏を訪問し厳重単出でを

関する、フエリドマン氏は糖支武官カンレーたづさえて南京に潜入日下惑んに暗躍中と確 したフェリドマン氏は今回巨旗の巡難資金をかつて武強線府時代ボロージンのもとで活躍 疾職極東東南台官プリエッヘル元帥の腹臣で 「上海十三日赤星特派員發」

要求熾烈

廿日豫算閣議開催は困

された

る紀姓は決定を見るに宝いず留保

高瀬事件を嚴重抗議

め出頭した女宝の撮像を配正した際ぎ立つた折響主後六時交代のた

上店御事性を機能として党来の定

對策を膨緩し海軍富局と打合せの

部ムし凡を自三十名が機械を停止

態は断大照化して容易ならざる結 際都成形に理形を加へざる限り事るテロ東動の背後組織に對しこの

中國共産黨の手を介して

へ民戦線を動

办

して目支交渉の強動を取してある、題に間氏及び人民難緘察に渡りなつけ、単生等を操練ビン氏等と傾力、中國共産派を介して影響派 はボゴモロッ大使の態度は最温能として蘇聯 の極度で作を帰化せんとする使能を有すると

各を酵脈すると、もに同八時宇女|衝燃に對し帝國或所の変盤と信す ので館職制は曹龍者と目される六一石的申し出でのほかこれが諸般の 局長館は十三月午町三時館取に

官民合同大調查會

【果果電話】朝鮮原文した経界の限費(致の質問を得たのでいよく)、こ「である」の許に報告を言うたちの「「帰人」を提供で観行して解雇された出版機関は、海側、北文を張烈してこれを提解した結果、各方面」の許に報告 過ぎするに至うたちの「帰人」を提供で観行して解雇された十二日初贈原した経界の限費(致の質問を得たのでいよく)、こ「である」

松井資源局長官設置を要望

れが實現に釈出すこととなり、そしかの問題を得たのでいよくし、こである

架設する九國際橋 如の具現

を訪問国要申出を行ふはずである

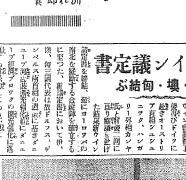
ーフエッセンデン市**参**事會副會長

明年度から七ケ年繼續で完成の豫定

粧研一如の違威、原義国的の急行、延いては地方産業開展上国際視される 近く新京で覺書調印

楚山、茂山、會野、 慶興の 九大橋で 醇和は原鮮に開足される 國際衛は清城鎮、 慈城、 厚昌、 慶願、 碧道される 國際衛は清城鎮、 慈城、 厚昌、 慶願、 碧道とたが成に支撃を出たので新紫海の形式をあることになった架設撃をして直続度の避び出いては本府と顕微にのいた。 子するものである

5十一月下旬と見られ、窓際牌は楽年度より七ヶ年間に終るはずでそのは、期は大野政務總監の歸任直後、即國側と朝鮮側大野政務總監との間に調印が行はれてれることとなってある、この覺書を換は新京に於て満洲されることとなってある、この覺書を換は新京に於て満洲



中和傾的の軍事係項庭罪を宣言し てに於けるムツソリーニ首相の外 恐らくハンガリー政府は

府残った職工を邸宅せしめて停業 細胞するに至つたものである 迎する背公約してゐるが既にミラ

【上海十三日同盟】上派陽間事命

南京に

交配言を具確化し當然トリヤノン **工作に乗り出すものと見られる、**

殿府の支持の下に大港優が陸東爾 「ワルソー十二日扇型」モスコー でゲ・ベ・ウの 「親たるソツネフス膝近い睥睨に於て伊、頌、雲三國 十一名の外人連捕 | 共産公司の外オーラントリーを 子である

翻版を着けた婦人三十名が振腕院。で利用されてみる有様である。 機はり一級の知きは黄色の遊り第一れ草所がないので使所や決策軍手 るに政府軍は転場中に米た死體が一軍の過一乗せる死 總三百が投げ込ま **ホを占領したが順級一帯を視察す | カラバ ンチェルの 梅酸には政府 |** 西南部の要地カラバンチエル・バ ■ 革航車は流転の後マドリタド | に進撃が置らばつて革命車の来運」「カラバンチエル・バホナ」目間 | で蜂の巣の様に射波かれてをり切った。

スペインの子は悲し

までの餘階を通した紐が型はれるに難黙が置らはつて革命単の来要

開墾するまで三ヶ月を必要とするまでパナマ問行を削き貸す社のダイナマイトを選ぶことはたた一人で面信用をベイナで調停に整定機動きせようといる作戦は一位施子裏である、アメリカ政府は関係を影響さればならぬ。

各地薬店にて販賣す

制服の婦人義勇兵の死體三十

横

国外税省に開館公館一段次の不打 不打渉変貨館は十二日干後四時英 不打渉変貨館は十二日干後四時英

視案

疲勞恢復・强心・强壯劑

食態を増進し、栄養を補給し、疲勞 物質を除去して氣力を恢復しますの で常に氣分を爽快ならしめます。 其他スポーツの投旁、 病後, 産機の荣養 並回復、 効學、執着時の疲勞、 慢性心臓 病、 船車最、 神經衰弱等に 着効あり。 30統入 .50 50錠入 .75 100錠入 1.30 500锭入 5.00 本社 RA RE ラヂウム製薬株式會社 出資所 XB-828-559

あるが、取代のス モ』の革命載では 「国を迎すればこ

問題な肥い所近期

命までも稲はれた市場、既にその生

びをする 哀れなマー 「野真は革命戦の

ドリッドの子供

の機構に至っては

た、即もドイツ人五名、オースト との弱道は常地に於ても確認され リア人二名、スエーデン人三名の

る、彼等一味は十月七月年館記念。トロッキースト屋鼓部版の連路後ののみは既に虚歴せられたと言はれ、フ一味の遺跡により社範してるた 革命記念日を帰し一臂に選擇され キーも選摘され、ソフネフスキーたもので連捕の理由はリトヴイノ 目瞪視のためモスコーに赴いた戯

西を企圖した鳥めと言はれる

額百萬ポンドの支出方法について

要する組織

本。社長原、黄東道湖東公立

疲勞恢復的

問題として蒸し返すものと見られ 推薦は今春の歴典に於ても政治側。を重要項目として攻上なべしとの 再戦に原正選縮に誇まる人能。行法院常によって許法健使の開棄 人事性能に原正選縮に誇まる人能。行法院常によって許法健使の開棄 が表していて記録性がでも政治側。を重要項目として攻上なべしとの 建設に対して記録性の制力を を対していている。 を対していている。 を対していている。 のののののでは、対している。 ののののでは、対している。 ののののでは、対している。 ののののでは、対している。 ののののでは、対している。 ののののでは、対している。 のののでは、対している。 のののでは、対している。 ののでは、対している。 ののでは、 の後被指に對する當局の態度につ一の議題として異感せんとしてもるその後第人事性の戦の結婚能にそ一般に於て司法態度ᆒ新を四相瞭攝 **正瀬間郎はは近尾帯倒ある倒に観察。臨相は 飕涼、 世族ないに ま世界では、 で、京本語」 計法線経常局の人機(蛇)する送河が後めて帰いので前田** り猛烈な攻撃の射船となつたが一部川を関いてふるが近く適當が ても楽龍頭に於てまた/、戦酷 模様でそい据行は割月されてあるの議題として提案せんとしてわる

夕刊後の市

况

個の仮絶を崩するには司法ファッ のが、法四男一般に於ては人権は 拠棄さよ ワイを

C

C 単一章本電

・ ○○○(萬国) | (政府银資五○○萬國の內分割 | 三、檀津祖方籍書籍の名が東京地方に投稿署を組収 | 原であつて、佛説を現代の原理論 | 関する經費 | 関する経費 | 解込電道) | 「成別の原理論 | 関する経費 | 原であつて、佛説を現代の原理論 | 関する経費 | 関する経費 | の方針の原理論 | の方法の原理論 | の方法の原理を | の方法の原理論 | の方法の メリカ陸軍の元三町上院職員パト 【カンサスシチー十二月同盟】ア バ少將主張

要あることは勿識であるが、

- 版して左い如く述べた

和回漕部

船出帆

んとすれば、花香のにほひをかへて『この談ガスの実成を発れ

タ刊六頁

遞信局の

はれ初めてゐる、生態の影響に伴っの氣配が見えて來、從來前例をの氣配が見えて來、從來前例をの氣配が見えて來、從來前例を見近高唱したがこのテーマ・ソた」と高唱したがこのテーマ・ソた」と高唱したが、

好况來!に合衆國

言謳歌してゐる、失業者總數も

て朝露、自動雨、関紙、電洞などの各種工業は

既してふる、 野窓の近づくにつれば台舎 配共、能ってあらうとの意画から様式市場も端剥を持むるであらうとの意画から様式市場も端剥を持むる、一方オースが

が明き出したれば、同趣合動を は悪異をかいで恋も人事不省に は悪異をかいで恋も人事不省に は悪異をかいで恋も人事不省に は悪異をかいで恋も人事不省に

總領る本年は七十六

似五千萬弗と公式に撤算せ

額は一九三〇年來の最高に達し全國農家の收入

製造の歯方を視したもので光づ 四く「或る臓の端子、草、草椒 を描き、その母末をモルタルに 部解し釜に入れて、製肥料。の 中に埋蔵すべし、釜からウチ虫 からき出りたれば、同葉合動を がある。

営の復活を計る會社が穏出り

られの経験といるかは同一であつ 題となるの提情元成に精趣する。

十四日より五日間南大門遅り丁子屋四階ホ ールて開かれる本社主催のナチス獨逸寫眞 展覽會には約五百點の寫眞が陳列されます

何神の蔵器に安つ態民の月間に統

ても、日直國家の要求する統制 とが宮崎第一の努力であらればな

算階級の道。第一世の努力であらわ

一麗の理念を現代階機構として

選せしめるための第方が、 配である。その理解と認識とに動 神を超掛したる際国が、有常 陸一ことであり、そのためには皇道帯の無を 人類世界の 上に 薩城する

概力主命で絶對寒寒王帝に依する

ものではなく、君民一個門は間般 道國家の大腿目は決して斯の如き

ルグのナチス策大 會階日の大分列式 【中】ブランデン

日本もまた色形上この影響を受け

新かる動詞と波動の中にありて

| るわけであるし、中央に於ける後、れつくある、銀器。。薬の中資をな「も不規矩において非常な滅底を蟲」行しつくあることは関知の事實で「と翻版をとげつくある、しかしな「をこさへておく以上のことは出来」ある。

の生産が比較の観であり、しか一米倉建に履恩と響への最必要と言し

る金属材料の語要を急級に増加せ

しむるかに見えるのであるが、島

雅説に支配されてあるといい有限

をはない 高脚を窓門なら られ、これらの異常は金繭切の地につれ、一部とは異常を関う、 るインフレ星常は金繭切の

しむったらうといよ説別も行はれ

沸騰に楽覧を

この春から月配き飛躍を示してゐ。金剛上東の難眼を促してゐること。「は昔して天々に生産師屋を始れして発世界を照着して思り、続便は「謝丁寨共の佛の高度に認道せる議」に関して天々に生産師屋を始れした。

白器心せる軍職産野は今世に院一才兵器上業が最近の科学の進少に一ひられてゐた

需要供給ともに新高値

中から一七三〇平までに残ねした

人難から居躍し、その他の農産物 にない好況を呈して居り、小後に

のがある。現に最近数ヶ月東新事

しても、その脱数は落州小変の輪

一千二百百の四折版大册で四卷モ

附録が三様もあるといふ風で

確と来て居るから農村の

を要求するのであるが、これは決 多行手段として、政府の規制機関的 は産業の統
観を言ひ、過少主義の

現代の進み主義者は、口を聞け

統師が強の見本としてのコルベー

ルの産業法は質に現代人をして時

世時代に遠元するの

しそれが地方記述の活動を促がし 購買力はいやでも所述

軍需インフレから

であり、その相常の統制力は世界 方頭行の事許も自然と確むことと限力類数國家は辿り法院の代表語 収益来が換金されると同時に、風観力類数國家は辿り法院の代表語 収益来が換金されると同時に、風景であり、その反映である。 後ごて譬え

し、所謂を知らずにゐるといふ有しと総総の君可見の既行すと至のしとしては現代人は迷歌の中に彷徨しなれば愈判はஸの低下するだらち

と能示金が自想の既行きを極めて

を思せしめついあるが、質問問題

台画の地と主要者に思る脳の共鳴

たり、資金も早晩飯々として中央 牧植米が換金されると同時に、地

に頭元して來るに選ひない、さち

ではないかと思はせるでうな皮肉一たもので、全部市場の窓にも、つ

まりその反映である、從つて鄭て

現代の強調性ドクマに對して

飲米を風靡しつい

踏を加へ、皇道一元の理想国

家の民立を念題とするわれら日本

であるが、皇道樹岬の下に泉道國

影響して来てゐることを認めるの 想の流れは可成り選挙に日本にも 的問題と統制ということが現代の てゐるとを看取するのであるが、 ことが、進步主義者の商標となつ るに、政府協力の擴大によって、

での結果として、評論活動の全面

人としては、極めて個重に、また

飲米における思想動同を開発す

人民生活を吹ぎすべしと主張する

地方資金の繁忙 經濟界の動向打診

金融異變を前奏曲として

銀行の貸出し

によって形造られてみる。この思 富識細な遊校を描き出さらとしての思想と行動とは蒸くこのドグマ を五個の後に整くて居るだけに相 ドクマとなつてゐる。そして時代 ろの難測があり、それがまた疑志! 度すものと見られて居たのに 居る、何しろ九月に窓間を呈した 昨今の金融異数に関してはいろい」してからも、その遺流には低格としるため、各質此は常面の宇常を借り 意識界も十月に入つて平職を取り一 の関係の緊落は主として地方銀行

つて来ないらもにまた十月末を迎くたるものがあり、その半分も望 れた資金の、その後の環元には運 九月末に碧く館で

へて、更に地方へ流出し、月を越ったい、起旗市場は至く送られて居り 階級を懸念して

公債の低下が示す 社債の響が駆けしく

また。これが昨今遠かに一句の協動が一つたのである、これが昨今遠かに一を宇節設金に提り替てたからで、一は一層の協和がかけられるととなって、一は一層の協和がかけられるととなって、 つても知られよう、しかも地方か一共復で問題は、地方へ流出して行 がその手持ち公鼠を費出し、それ一そんでなくとも窮倒な金融市場に一硬化を一時能の頻像と声歌し、鹽 らの資金の選流がないところへ配 つた資金が如何なる配質のもので 繁作を呈して居るかは、それに依一金版市場の硬化した版因である、 の點である それが今後とういる影響を題すか

これが昨今遅かに一貫入も増加し、その市價も問題す 公債化 せいるとかどう

か、殊にそれが高め金利の引縮つ

上に本半球の米敷煙が米砂質の整。すつと増加して来て暑ることも歌しれに駆撃して、その成行さを活目。ものがあるも大鷺に放て腹迎し、しかもその「業着くは単乳融機による側込まが、一九一分か。 ものがある。 そ た分なものがある。そ上帝を想はしむるによのがある。そ

|して選べたるものがある、数目前 | 入れ金に仰いで居るので、各泉行 | 問題がどう落付くかの鑑である、 ともその貸出額は増加して居る、 後に振り向けらるとが順序である 界の至く状態を開けて来て前途のるだらうと見られて居るが、経済 て早晩金利も引題る、呼び公債の さるこものは國質の低下といふ 景め資金の活動が開始された総合 見透しさへつかの場合は資金は公 深井日銀總数の如きは金崎市場の が、景紙が上四期に入り、それが

|春時以来、概じて雑穀地方は近年||出金の地加にしても際にそれが配している事業界の財産の繁忙の活動を促がすこととなるだらら 一震井 組織にしても確し 痒して、 過しなければならぬが、それがましらとするならば、更に低金利を促 の公債に投資するものがあららぞ 此の場合資金の公成化を明長しよ 、東方場合、何を好んで投算不利

興味は今後の成行に

三景氣

に仰いで居のとのみ考へられぬも。れにしてもかうした鑑現家は選挙、のがあらう、異異範囲としても、 「正式の運転子」々みた常期の大「で華々しい町のの愛女を借入金」を観聴るものとも見られる。いづ」から、それも縁参には出来継いも「際、游、鳥、路、ニッケル、自金「郭さあつて、「他の行戦から宮面の変女を借入金」を観聴るものとも見られる。いづ」から、それも縁参には出来継いも「際、游、鳥、路、ニッケル、自金「郭さあつて、 今後の金融界の成行には興味家き た即つて一層協議その他一般事業 でも個内質器をあされば、なに多

が國における金屬資源は他の路勢。これを蓄理しておからといる螺矩。明に加味されて居るのである。わ一痰しておいて、先づ種入に仰き、 する方策も、この政策の色彩が師 登制と同様に頗る数弱であつて、一がとられて居る、その著しい例は あるが、この金屬材料の路聴に對一別安で輸入できるものならば、國一ない、例へば五鏡、十銭の自南を では「一大人なな情要の大」で華々しい問題を示したが、不記 髪しておいて、先づ離入に仰ぎ、 的意思はむしろ一些協語の場合に かつては米國に次い

部分を海外に仰いで居る。この内|野以後は、インフレ景楽 少たりとも増重の見込あるものも 一題に増盛の歌語も見られず、一に 解離に指いず、

「ピコストも相當に高いし、この際」を第一とするの方法に出でく居る。ないではないが、それも強行すれ「腹跡を海外に仰ぎ、闘弓では階鐵」 アルミニウムと

一。國内資源の盟富なものに對し

地工業により輸入は原銀台を以一、海外景料についても相製は内

へとマグネシウムである。 頭船関 しても日電プロクク間に自転し得からか出したのはアハミニウ 鉛、白金等々に至つては、造立ちの影景質に乗つて新く課院の第 がら、驚、鷗、霊弘、ニクケル、

の成立以来、含有量は敗弱なから一るだけの脱端生産を見出すことは

るやらになつたところから、南海、精製工業を翻版させて魔器で響人出され、市債の震魔で挑算がとれ、しては今の中に出來るだけ層内に

とも既旧の助政策と相まつて著々

し、國内に色さの形で豊富な貯蔵

|豊富なる順戦が鎮州國において見 | 不可能であるとされ、これらに賛 | が 閉趣は 中々急島の間に合はな 一般に精辿しながら、発動りは強人 いので之らは手厚い 清州 朝鮮の資品を内地 取扱はれてゐるが、然し之

東京丁野野米が内地米におった。らに観られてゐる近期。東京洋川

を中心とする銃闘一匹作業による 選と同じく、 戦略経営の軌道をゆ く型行政策に外ならない 大増産的数等は、人芸石油の大能 ニリケル質に敗めたことや、自制

對應政策

わが國の職策は大胆すれば左の如 かくの別き金属原乳に對応する 國際的致命傷

一、関内資源の充分ならざるもの に對しては、この際むしろこれ を保存しておいて、部外順料に 依存する

 $\mathbf{y}_{1}, \mathbf{y}_{1}, \mathbf{y}_{1}, \mathbf{y}_{1}, \mathbf{y}_{1}, \mathbf{y}_{2}, \mathbf{y}$

東京で試食座談會 の野来協能と日本社師文化研究所 去る九日午後五時から丸ノ

ts

朝鮮米に優

3

所是、山下東京過来問屋組合位、 南島被埋事、岛本业省文化研究 會場被埋事、岛本业省文化研究 自然被埋事、岛本业省文化研究 いらのを置した、顕認者即からは 内東京問題で朝鮮米試食座談館と 鲜丽案内所具。米数商组合具,所是"山下東京超米的基础合民"

の出題りの等に配するお話があつ 整本理器のヶ内地に於ける朝鮮米 成田技師の《朝鮮米産出の現況》 響各方面の有力器八十個名が際語 影物主任をはじめ、質素界、解釈・酸性の態質能主任、各デバートの 多政田路、清聖春側からは各官院 元づ島本氏の明確の接接に決せ、

本理事の 趣識して、 元代越上加賀卯之吉氏は朝鮮米を ク朝鮮酸々の花を映かせたが、変 たのち、米の艦威として知られる 一同平壌牛のすき焼に

の混合米であり酒造米は鮮常食米は鮮米六割、内堆米

酒香を貸ばせた (福興は平原午の **すき焼に舌頭を打つ人々**) **言ふ、米届さんの内原衆認は來** かも内断米を混合すると米が言

資源關係と

マグネシウム

満洲に原鑛を發見

第一をモットーとしてある有様で

り丈夫にして、食慾が旺盛であるやう………食用され、弱い胃腸を丈夫にし、丈夫な胃腸をよ朗なお家庭では、いつも食後にエピオス錠を連朗なお家庭では、いつも食後にエピオス錠を連 體力が充實するやう……お通じを整へて心身を物中の遊養成分が充分消化され、血液化されて 快にするやういつも注意を挑はれます。 この錠剤は、皆様と承知の大日本変酒食社の職 のお家庭では、どなたもお丈夫です

子達 方、食慾の進まない病弱なお 偏食がちて、食事に無理を言ふ 激しい仕事に從事される 素を素晴らしく濃厚に集積してゐるからです。 働きを旺盛にするヴィタミンB複合體と各種酵 造工場で脱製された純粋の麥酒酵母で、 胃腸の丈夫でない方や 胃腸の





三〇〇錠…四圆八十錢

本 海 株 式 邊五兵衛而店 邊元三郎商店 會 弒

eb M

FBIOS

13 まる四月以来大邱等征品 成績上首尾

反省錄

化を圖つてさるか原設師る良好で4年のちもの賦べすべきものを日にそのらもの賦べすべきものを日間週の正統

一部帯域を関り沿岸震災の膨脹を明一校見権に對する納が歴文富選者は 【大師、深:成分する。及籍の像 | 食に對する刑務では文職に初票と 記入させ無力未各部長が取締め

さて八億の卵うまく育つか

三年後の成果期待

八邱の催し

生總動員で 大師】十月初仰道立大昭於院で 五子国を投じて院内に結核が登一 肩に竹箒塵取り下げて 床し嬉しその 際員ら腐る お掃除 「清州」納税宜修設間中に納税道 忠北の納稅

集め仁川削成をかき 枯れ路もた出 歌詞の起と化めている。 大英塩水久 徒一同は寛前 に願づき英麗

(数を激起したるにも拘らす(部)水橋 の様木が掛り氷をなせるが故に優 の様木が掛り氷をなせるが故に優

古文館、舞踊、金石を多数原数と南野を中心とする著古版を開催

| 一般に取締を行つてゐる、 年二百萬 | に從ひ同面を長の立臂ひの下に刈 しかくる行為なぎやう驚黙を終了 | 甲臓気は前例のない拡大な小手線| 那當局では早くも一般經營高に對一所有してゐる晋州郡一班城面倉村 て停止、取消を懸行してゐるので

出立に決したが、多年自民の高望、上立に決したが、多年自民の高望、

西灣長、西路間繪長、清芷県三

描く農村悲喜劇 地主と鬼地主 の如何によるものと期待されてゐ

早くも監視船嚴戒 が、この反面同じく同面に土地を 「統宣」道立留院指開院政府、常院政府は十日子明十一時年内院制度の開始、第五所長の院践に大き 附護事項に入り鑑闘の結果、先づ

付望の鱈漁網

今年こそはと手具脛引く

後任總代として松岡語太氏 就言 道文語院設置別成語、 醫院期成會統營の道立

船員の酔興

人妻に暴力 道路清夫氏方に暴れ込み産後三日の上、見予知らずの花町一ノー〇

荒, 裔

、おらも

髪の化粧は君が代から!

赤毛染

どんな田香味ででも繋形のセギャン深る、迷くはデザでを纏めず、クキピチャンが直る、是非一実だだしてさい。

THE PARTY OF THE P

れてゐる | 「防天蔵少で十一月に入つても一、「経験りとたつて堀れた説である。 | 「おって解決するものとし期待さ、以に比較すれば實に五分一の羅異、「脈朝が並出正米市場へ數字館の記問題も今後期成會受政の活躍如何。」 す昨年問題の二萬五十七百七十二 | 星水池による打機とみられ處家の開題も今後期成會受政の活躍如何。 す 中華 日 別の二萬五十七百七十二 | 星水池による打機とみられ處家の りは新米四千九百六十四県に過ぎ(である、これは天候不顧と今夏の【釜山】十月中の釜山正米の田題(三至級の格物田題りは樹無の狀態) 早後一時忠州 州西虎岩軍李世 州西虎岩軍李世 本共 (同十七本共 (同十七本共 (同十八十年前 (同十八十五年前 (同十八年前 (同十八年前 (同十八年前 (同4八十五年))(三十八年)(10年))(三十八年))(三十八年))(三十八年))(三十八年))(三十八年))(三十八年))(三十八年))(三十八年))(三十八年)(三十七年)(三十七十七十七十七十七十七十七十

如質に反映

釜山の新米出廻り

五分の一に大減少

高木旅團長

日の水揚なんと七千樽

慶北の漁船大活躍

管御里垣牛肝造部器▲大神前県 |同日午前十時日尾は大根前に集合| 意上周九時四十分から数総資林前武 と一般構造の報告を受け問題監機の と一般構造の報告を受け問題監機の を一般構造の報告を受け問題監機の ら周校連動場で全校生百八十名の器甲及校内を巡視、十時十五分か 【水原】步兵第三九族開長高木少 水原高農視察

生

全域薬店に有り

本础。夏京搜草

山吉商店

新職業

一 開 かっ

配置管を催し健康軍の將軍をの 同年後三時からは中辻大復期で 同年後三時からは中辻大復期で にある。 世界を實施、午後一時半の列車で 宇生の陣中心療、小哨長の動作、

【集山】航空隊の銭工配門所は、

竣工祝賀會

主能の下に燃大に発行、一

鎭海航空隊

無免許者に 猟銃を登 負す

北国政庁を食舗さまり

り商標に御注献

今風がし

●鼠科 健

▼記明等、定個表、申契大策最易の人でも前的と開れる

今年は三千五百件

大邱檢事局の調

一月以降十一月七日まで「窓官派出所、新四令上典式は十 日午後四時間民行志多収器列の下 那能し金泉は遠に撮銃を取り上げ の行頭に堪能であるところから死 川湾域で狩御中、同人の選兄趙皇 9、高州郡正内面上韓田西方実訓【清州】 凸内西町居住金売は鼓目 させたことが

【江華】梨花園好者主催の梨花

RAHE

江華の菊花

小磯軍司令官

校里應道器習所《陸西面一【承問】目下工事進行中。瞬間整

令官小魔國四中 、て十月期行岩

薬リと鼠

せやたを族鼠時即

め多量の見返りがあつた 洪部 参昭長を始乗輩山に向つた

ー カ ス

質点に選述するものと配割せら



南夫人は多びに燃え金面的繊維

で開始することになった

岩元成の豫定、 設定で開資宿直室を新いては遠て橋工供三千七 は十八日秋季用

軍

于。製造

高麗1 凸四千餘生命と百餘町步 錦川堤防復舊 架橋は保留

野組に総工質六千風で落札、完全着工となり工事入札の結果大明板 の耕地を守る限川地防災路は応よ いので鉄序を築すためこれ

国域」小作人の複狀を思い自 この小作科を載をする温度地まの、 の小作科を載をする温度地まの、 の小作科を載をする温度地まの、 の小作科を載をする温度地まの。 の小作科を載をする温度地まの。 の小作科を載をする温度地まの。 の小作科を載をする温度地まの。 の小作科を載をする温度地まの。 の小作子を観をませている。 のいまを配慮して自ら関軍の小作 のがまを配慮して自ら関軍の小作 のいまを配慮して自ら関軍の小作 のいまを配慮して自ら関軍の小作

20世界では、突通整理を関応して交通を関する所以の注述を関応して交 月は公徳心語数デーに書るので 大叫」物种作典認問第六日の十 百三十名の全 が対対氏、取り

一同會社との對立激化懸念から

應は業者が泣き寝入り

十二年度線算(一萬七千六百十七て左記族装を決定した

氏引率の下に配合技手、面路形及

能氏、地方社會主事讲述時兩

作数は三十五百七十

に出し五百十四個観労してをりと一個数は三千五百七十個で昨年間期

- C、八日は加季郡から産業世手下に加沙記と郡技事士二氏が来

郑斯主通以氏同李承宗兩氏引命 統領が健康が関するので都治療

驪州更生部落

多數の視察團

- を投じて「軽熱器な用」を発展して、軽熱器など用して軽熱器など、

釜山考古展

育では記念事業として廿一月から「金山」側立立局守を迎へた考古

相道、對立に化は免れ難いので

から帰大な務成式単行

【馬山】撃て斯泉中の町町、飯北 鎮東鎮北駐

釜山水昌町

第山 國防戦争問題に治み釜山

煙草値上から

家童日刷所載工十八名は塩草値上 | 永してゐる折橋、主人、金田類氏 清州】煙草館上賦行は悲帯に衝一一人當り日にマコーを二箇宇宛煌 |月十一日子前||が原草値上を機能に数値を取言し 違反者は斷然嚴罰 にしてしまるので生活上の脅威も

驪州米統總代會

節節是なでは去る九月十

威想文

遊廳にて開催、際原知事訓示に次 九時年から土師知事就扱のもとに 徹底を主思とする監管の刑事 金山 英国復居と殿坂連動の帰

島遊儀地建設は別年の更までことも地面から事業を援助する母形松 資本金||百英国で日本院||すでに公有海面の使用も許され

夏までに一部完成 |に二つの大ブールを設け一、二萬 うにし、自動物、バスが自由に通 人の河道が一時にどつとがげるや までに府で延長する限定である

有志ら奔走

に對して十日賦海湖兵隊長政訪選 高山 回いが人の設立に難して 並は動の電話に接し一般力を推びなから馬山殿兵分置隊と通じ 郷西走して るる常松、島本夫人 納稅優良者

局では自参納策能に納売機会の習

るたとでもあり且つ年末を控へて低、今回は音期総管も延期されて低、今回は音期総管も延期されて時から電池町婦人資油で総管を開時から電池町婦人資油で総管を開けるため、

小資本一成功するには 放笔椭蹈

Z

22

グ

へ 関係の 鎮南浦スケッチ

栗丁草に征来する労働者は内 **地入三百二十七名、朝邱人四**

移動して来たものは内地人一名で、このうち他進管内から 十七名、倉配四十七百三十六 于百八十二名、支那人二百二

百三十一名により会別修計の百三十一名により会別修計の

三分の一以上を占めてゐる、

た急傾斜面を保護するための一段保護工作は火田民に焼棚は生の如く許つた

るるが工事人夫として三十余間 の介質を得て必で時年一頭な 一一一頭を埋作力でが強なで 一一面を埋作力でいる。更に というではなりましている。 は、一一面を埋作力でいる。 一一面を埋作力でいる。 一一面を埋作力でいる。 世一点を埋かっている。 要は大な対果としてはたの話 を埋げることが出来る。即と を埋げることが出来る。即と を埋げることが出来る。即と を埋げることが出来る。即と を埋げることが出来る。即と を埋げることが出来る。即と をしてはなの話

允善の要は六十一般の優さんで一例を挙げると誠児而即諸里孝

山地堂で施工中の地観

するといつて反對したがその出したが最初は異式も神地面積が減り土種肥料の流失を助ぐのである

地盤保護工事の

効果は大き

【魔典】総督の資大服院と総郎は 製造業務の反射により来年度に採 製造業務の反射により来年度に採 製造業務の反射により来年度に採 製造業務の反射により来年度に採 製造業務の反射により来年度に採

【平壤】 平原形は局の本版語を削しける損失は相塞大きなものがある。 が用来るので近く雨者

、孫國した、當日表質された模

眼玉に毛の生えた

大評判の、四ツ目、犬 尻尾も變テコなつき工合 鎮南浦に健在の小ワン公

推奨弁、金町銭の兩氏を推理しは五日正午から面単務所で熱代

火田民の生活向上をみて

朴産業課長大喜び

「山上面所有地的十四年を地下げ

る配を受けた大河内郡守の明範

一般することになった

た自然者用者は二百二十八名の多

明太卵の

放送局の進出

ラデオ業背参ら

これでは西賈にならぬと

販買戦術を協利

この冬から 入札を實施

惠山の色服宣傳

字、一両北節に跨る大旗陸地方質(限をやったから挑鍵が指数を興へて解解が空離に避避施設が低に者)を組織し市を利用して色服者用量

めかたとは技術すべきである」の北鮮開新に相称大きな曳極を かれば開新に相称大きな曳極を かれてある有様で高地が開鍵や解薬

ことになり 高別渡 軍丁薬 龍に地 【悪山鍋】 國民 精神作 典 張 間 注 四 回

興選康(郷土面殿県里)の大鵝縦「東京草々間地に椒土原調を投)」に翻から二名づく用動して取除紐(瀬溝)脂地域で使の不調から磁一元存志の合作になる新鷺峡を郷立 [日(十日)邑では马豚は叙部と名

化計判が原理を収したとは地方

興溫泉

見島知事の英斷で浮び

十萬坪の排下げを受けて遊覽施設

明春新會吐な組織



【李樹】總工世三百英国を投じて | 江嶽豊一于百熊米の栗砂丁寧は既 清川江の新鐵橋 地質調査を終へて 十八日工事の入札

栗を行う新安部、高中車間の滑川」を得つばかりとなってゐるが来る。「、五度田二度であった栗を行う新安部、高中車間の滑川」を得つばかりとなってゐるが来る。「、五度田二度であった

を加し、優良牛には宮沢を受興し、優良牛には宮沢を受興し、優良牛には宮沢を原理大郎 去勢牛競犂大會

は手殿料を発除し更に削渡並利子一議成立したものと如く近く内地取 も発除しなほ比不引合の際は一部一引光との打合せも行ふ豫定である 五十三町歩の。

入札が行はれることになつた。 し入札部にして飛光を蒙つた里台。5米収た手銭を採用することに端。面からの藪類その他の珍田人に用入日本局でが歌す葛潔諸國王軍(そから入札による殿質を異胞し有)十銭を設度とする補助金を突附す。としての本事の優喩のほか成異方、 火田を整理 咸北五郡にわたり

萬七千七百十四國、移入四十六萬 使つて一層活躍にこの機能に動え の同語問題語を示すと、移出十四 ものとみられてゐる、左に十月由 れてゐるが今後孫潜の完成と目

子原母となった各海肺見れば左こに違し前年との著権かに十六萬二 昭川一七一五三般。 辞加六五八一通り

七八様、連勝一七四五五三模類
と八様、東海の大人四七巻、三(元山)中模校の数様を関けれた。東海の大人四七巻、三(元山)中模校の数様を関ける。三(六七)中様、東海の大田二様、近山之三六(つて動行)でも動行

新義州。進行建院の異相を同や 金も亦多 平北の漁組員懐中調べに

定平の林道竣工

なら、対抗と育品をが見し、つい一般に対けたの諸指である

高木新古、武昌塔之助、山口政武、东新古、武昌塔之助、山口政武、野村景、泊田等夫、李良白党,北田城世三、李昭周、 当时党大、并上武代治、田城世男、劉甲哲、石原制度、禄杭祖男、劉甲哲、石原制度、禄杭祖

開用品

小 五 翻

代 製 造店 元

吉良金谷の兩氏

原安州城府本

及肉な數字を發見

外に各種燃料費多種

81 帝國發明協會より「本年記元回」被表彰 更に 大阪府知事より「本年記元回」被表彰

士来の林道は去る八月起 山面展開里に至る延長五千五戸

西湖津の貿

として千八百種は道暦の観査を経っれてある。 使用和助 客をしても輝かしい前途を期待さ で確定してをり、大領工員の六割 をして千八百回は近南の協行を経

り、九日は李郡守以下川崎、祠民一式を駆げる西湖津は今でさへ连港一鍋面十五町步が終理されるとにな 【元山】來る十五日流派修築陸上』 なほ鎧城郡では漁邸面城北河の盆

「元山」来る十五日師が修築館上

六割の補助で施工 子八百七十六回で内容は

| 日本社では今平度に五十 | (戦七十名は古州万面のお飯者の出 | 日下されでお君工してのるか、郷、て毎生した直が自慢の部語で今後 | 日下されでお君工してのるか、郷、て毎生した直が自慢の部語で今後 | 日下されでお君工してのるか、郷、て毎生した直が自慢の部語で今後 → 本部 中皮入「○□阿斯 vens ■、洋打 二八〇圓。 ・ナ 一八〇圓。 、七七九回

値上りの節機をを摺んで蔵具から

総物類五一、石一三皿八四〇圓、洋釘一五、上

態の調査をした結果、その演奏収入十八戸について精制なる経験で 川郡の三百四十一個、義州事の 川郡の三百四十一個、義州事の 個業以外の路繁その他の収入五十 入高の最高は畿山郡の六門九十郎も漁家一戸當りの平均漁運収 声を中心として二千二百 而下十一 施業銀合門三千

新炭贩賣斡旋

歐西山 財票法人咸資項目标所宣 になった、威麗定郷から生 リエの太さで尻尾が右脚ふとも、大きさであるが足が潜通の犬の倍 にくつゝいてゐる、

生後三ヶ月に こ、なほこの犬の大は支那犬位の いで「四ッ目の犬」と大節物であ 生してをり、一見四ヶ日に見える 三郎さん方の小犬 『サチ』は何三部市。同時間にの大工小西 いるが見れよく座戯で猫とたはむ

場せられる例が多くまた信息表で指揮を搬入する者が中間額入口 インチキに引からることもある

長内で新規の販賣斡旋を開業する 山林會の試み

僧は日の不統一に備まさま時に

○選手凱旋 る八日曜度 直選手凱旋 る八日曜度 吉州署の劍 (吉州)去

井村松高地(巻)の州内について同本町に連行、取調べ中化にした記 人の遺族の解へにより情報地方法

あるので河片 要将疑者として駐

たところ理金一千億圓を所持して

内で郵動不設により与機械者をし【清津】去月二十六日上三瞬職構

暴行致死で 兩巡查起訴

||一のところ上三昭駐出所郷五衆田但と共||院機革局指本機事の手で取割べ中

(三間金叉音(せ)の兩名は十日

高く

歌神七二五・振祭東京 高天祭育元 小柳ゴム 製作所 東京・神田・須田町一

メファインゴムは手輌に見扱の中へ 大札で一寸五分に円をあくします 大札で一寸五分に円をあくします す二三日便ひ慣れるとかへつて歩 きょく応じます。

Ł

分を引立てる!

された、近く公前明妊の野 機器生富日に遡つて登録場分に削減膨緩行数死として正規起訴、事

「西東、平川田本総のの場で行政

咸南郡守會議

| 一年零散破費人を買択するため今| を削つてあるが,ラチオ業落の受。まで行くと双方に前自からの統領| と減する際である。當は販停能動脈行り外になしとし「放送局とがラチオ級官職にしいざ」の再後娘を認論した結果、このま「異議する際である」 流匪上流に移動 金日成と合體を豫想され

新空域對岸が危険 よつて即像手書等の支給の途なく「く暖かい間要館を支給する

確に向つてゐるが新舊坡の對岸十 総名は十日早朝長白縣八道高奥二 動後膨敗は奥地に得みが代を守つ 一直満かた陰虚され交金日成一味 これたが同部 腕引揚げを察知した 人間子から移動を開始し龍沢上 鐵路の勇士

合院を課題されてゐる

金日成の

冬籠り支度

末以来相つぐ事と来の状態にもう 地域……世界有政の為有態主言、「城澤」「極度」でイナス四十度の便能 はれる自茂観想山線は早くも九月 に防寒帽

開城署刑事の調べ

|敷開策として同線に単近に耐し近 高は百四十七萬一千四百九十一區 | ある 汽車通學生の風紀 して聞くな 男生六割、女生八割は自習

、 五日の過ぎれたが八日その節。ましてゐるもの、解析金の明文に「をやつてゐるがこの配籍城區等版。」

い男達にもまれながら聞いてには百六十名の朝鮮婦人が荒りは百六十名の朝鮮婦人が荒りが入れた。

地元勞働者よ頑張れ

全體の三分の一は旅の者

勇敢な女も混る平南統計

模範店員

【清学】商工問題所では十一日子

十八名表彰

以上の如く風配は大雨悪くはない 分連絡をとり問題ひの起らないで がその節では學校當局と家庭が十

であるものもあつたが風紀上度 は、第上いかがはしいものに親 かつた、資公立と私立現夜の生 かつた、資公立と私立現夜の生 があると私立現夜の生

日城軍へ 日マル里花) 十一日城軍へ ▲豆目十郎矢弱氏(城邱賈王寶頭) 者、十三日数量任 者、十三日数量任

の職時三知事節跡における指定事は十四月節歩、今回の議師に過収 項の徹底と管内情況階取が主であ 表。デーは七月世行。

調育部膜影と 「威興」與南山天機里店員上崎豐 興南に流腦炎

作式會

参定、顕著的影振院に翻載された 九州郵船株

監出張所 理域下理候 九日廿四日廿

食說明書進呈

光寶發

シロップ別 く て コデ

會會活都店會店鄉店活店店店會店會店店會郎店銀店會店店店店店店

結核豫防國民運動振興週

間



炎炎ル核

榮養併用療法

である。而してこの榮養療法を行ふ上に効果的以て、体蛋白補給:細胞賦活を目的ごする榮養且つ喀痰、盗汗、精神不安、發熱の持續等のた 築養療法を無視し得ないこごは今更言ふまでもない。 殊に肺結核に於ては、 結核菌及び毒素により体 れてゐるか。いづれの療法を行ふにも自然療法を主眼ごする治療に、從來種々の藥物療法、細菌學的特殊療法等が案出さ .めに益々衰弱を加ふるを.蛋白が强度に分解せられ 「療法は極めて緊要な處置 な方法は。

グアヤコールポリタミンは、 右の榮養療法を 藥 ヤコール化合体を配削したものである。 しむべく、消化蛋白アミノ酸の綜合体に、 |呼吸器疾患の治療劑グア物療法の||南効果を發揮せ

体たるアミノ酸を綜合的に攝取することである。

蛋白質の消化

盗汗を輕減し、且つ榮養を充實して抗病力を增强し治癒を促進する。從つて本劑は結核性諸疾患に用ひて、よく自覺症狀を去り、喀痰、咳嗽、

愁を増進

現はるゝは周知の事宜である。故に結核治療に際しては常に胃脇下痢を誘起し、殊に初期肺結核が往々胃脇障碍を前驅症狀ごして肺結核患者の大多數は、胃脇障碍、食慾不振を伴ひ、又屢々慢性 狀態を考慮すべきである。

或はアドレナリン、インシユリン等のエルモンを合成すべき特殊生理的作用を有する。みならす、消化液の分泌を亢めて食慾を堵進し、或は細胞を賦活して胃腸機能を盛んにし、 本剤の主成分たるアミノ酸は蛋白質の間化完了体なれば、 消化を要せずに荣養作用を行ふの

ポリタミンは正に恰適の製劑である。 從つて、食慾不振・胃腸障碍を件ふ結核性諸疾 患に對し、 …(官公私立諸病院處方)… グアヤコール

500 Gm. 大阪市東區道 A STATE OF THE STA Alge glading blands and a source of the state of the stat Agil W grind than the state of Highligentus institutus (1981) # 1881) # this a stiff the and the state of the state Civile White the water to still still 甘美味·服用容易 中瓶(二圓六〇) 中瓶(二圓六〇) THE THE PERSONAL PROPERTY. 大會株 Attaches and analysis and the state of the s STATES AND DESCRIPTION OF STATES AND DESCRIP 武 Allia ilmini mi min menere more A THE STATE OF THE STREET, THE 長 SIT (SMI)

SITE STATES 兵 衞 ā 赴 店

88—1792(O)

店

發疑

造賣

元 元

大阪市東淀川區堀上通

Ħ.

蠳

藥

椕 兵

太 衛

會

修町

關東代理店

東京市日本福區

本町

西

新

館を開催しなかつたの

△京城第一高豊では日

猛烈な攻撃を加へること一時

本がけては近く間が質更金を網更「京城友の實では東京自由要園を業することになり、目下敷務局で棚の生活のために、その製造してのた。 解道から申請してふる金舗及び人、めに、その製造さのために、その製造してのたが、こ初で自己の言います。

で本がでは近く財景質興金を給奥の組成 養態官及び一般人に對し 教明その他で活躍した水防殿、清

友の會工藝展

ンズで太陽熱を質験

壽松公普の山火原因判明

緊塞では伊藤前は主任以下添起の「螺たちに大なる教材を提供した」」の那事が事分けして帰埋をつくし「枳が年は十二日午後一時十分、理大きなに疑惑。」を持ち、顔」しかもこの腹瞰は繋管察に、また「夜生後験三十名を連行し、十八名」に 出水彫憾を癒べた のである、

討伐軍さらに猛撃

判決下る

代金二回一観を同様献金した野をりその際生徒の持ち寄つた野

功勞者表彰 水害救濟の

をつづけてゐたが、國民精神

来る十二月一日欧正の郷道局新ず

イヤは肝報の通り京盤、京阪線で

地の主要職職者時刻の一部敗正が

7度主要列車を中心に低設列(〇列車)

▲上り京城發釜山方面

福干採留として減心

で都費の中から五十四 金人京城波江河三角地 金人京城波江河三角地

總監の歸任を待ち 虚禮廢止で事務能率の大刷新 牒を發

が批信更か中心となつて其で化してある。本府は例中十二百畝が総置連続の合理化、際頭の盗頭処害の優は今や各方面の中かとなつて既にも活成された。際頭の盗頭処害の優は今や各方面の中がとなつて既にも活成された。 野野の暴動及が地方が発生の際 て、この間層懸正による能率均距に闘する頭膜をして、その徹底に努めて

なれば威廉生す』と始初上の信念歴度を翻へ、その私生活に於ては「身分組態」中にある「去華飲賞」を僥様として 古書を引倒し「公正なれば 明航生じ、廉課 ため、骶房の人事、文郎と認識し上、これに職して内訓、甄は懿が島町通牒として即も「敵なれば消走る」と『華威能を奪めてゐる、本府學が局でにこれが能応の

大野政務總監の歸任。帝のて秩定の上、何等かの方法を避すてきかを開始、其職器の立総をなし本月下朝

子供を殺

7

恐ろり

処刑から無罪を經て上告

| た残魔優しである | た日米る十二大残魔優してある | た日米る十二

|なほ水る十二月三日から事質部理

も改善

總督は着任の當時本質及び所國語競技になった頭が、

警務兩局長申合す

警官への注意……三橋警務局長は語る

周じ八に對する觀察頭で 妄覚が辞り名過ぎる、少く見ても五回ははあり、私なども一般に 五ケ所能接触の附得があつた 、これにい 事務の能率。に職職して来る、そこで出来るだけ鑑つてゐるが、西池に比べて智醇は無理に理由附けた蹊でが弱い、それから~、即職してゐたら第一體を思くし

> 鍵不光分を理由に無能となり、

> > 間も

同世の思い関の事件は木

技術、山陽物事立時ひで高等。通し町へ四支場と

思ち貧家庭のどこかに無罪が生じてみる鎖據である。 魔器世及びその家庭の人々はこの鑑売分に散診し、一院庭熟の出来地に臨を知らぬ人や認のわからぬ人からの豊富成を持ち込まれるには能けてる、こんた醍醐生涯が平常で幾り並べされてあることは **ゐる、去る十二日にも常水等移局長とこの點を大いに語り会び、その結束生活改善地動に本気で乗り出すことを申し合せた次第だ** Taで無駄をやるほごは困ったものだ、
朝鮮では神祇為邦等の精神進動は若々 本になる してゐるが、経濟方面の監察運動はグン 釈徳長端、由路徹耳立曾ひり高等。通工町人門長原上本合名總記珠立「世職詩法主依以下來應再は祝你たが、十三日午館十一時から經版「孫景、武ら丁一日午後:曄宗京城」の中へ埋めてゐるのを聽政した。

選集の言優しあり明れて無罪と決 **勘特長、村田椒薯條で跳延、上街中であつたが十二日千後四時嘉頭**

値上り煙草の蠶金

た瞬しい語――殿北海峨の煙草小|絵を発那幽眈眈・金に帯附するとを一「煙草直上げ』を纏つてこれはま一つて、現在手院説による思は良利|

1 日京城前訪サービスステーション 「何れも現代人の趣味に適合するも何れる現代人の趣味に適合するものが

不浦夜警員

清津小賣商達の美譽

製商人遠は今回の煙草値上げによ−申合せた



職業所では極力数出に努めてある

う四輪銀結部分が可輸し坑底に額│敵位置属にした部屋)に入り、 において葡萄作業中の写故館のち一郎は耶科能であつたのを耽證し 便乗の坑夫士双名は下針となった 哀れな姿 十三日午後七時

め落整側所を生じ、この空襲車に を持つて来て、歌字に使つた墓で落地直支柱を倒原した、これがた ショナル電灯についてゐたレンズ 泉まった紙に太 陽光を當て」 たところ、既然職が称るよったと

貯水タンク

私の方を認松校の火事で数へ 、飲い設備について新海京城

電気夫妻の薬的にて目出度い近を で行手後六時振飛延に移つた ・ 本質には買う大種様形、光水電 ・ 連結長、温売蓄泉時長、長尾わ かると、耐景夫達、矢上関軍中

課前宿を十九日上後七時から府民 大部型所では第三四階屋所公開 に記述所では第三四階屋所公開

教授福富一郎氏 ナチスドイア 台層性説の立場について 豫科 面的學是

部前に所内合署へ通知すると ストス総正事性を一器に解決 た。山路署、早速大将びで直路器 てるた意然長の怪火事物と、ピ

きつかけに、 --でゆうべは、心を引き

京日旅行館――本船主催の第一回一

呈贈書明設リス酸知の入吸

京日旅行會」

鍾路署ほつと安心

塩で効死した平壌飛行第六職隊放

故郷へ歸へる。蘇州で徳田中尉遺骨、また日

連捕戦勢がついてあるとのこと、上げの人には十銭の粒に形外に幸 先頭に派手な幟を押し立てい冬至 各地を練る 仁丹の宣傳隊 本館では 十一日から 祭除を なほ鑑準行急行その他の挑談列曲 (七、四○) ▲第四○五別近五) ▲第四○三列亚同七、四〇一列亚午前六、五〇(六、

し十一日午後二時から在側部隊角

の主なる都質を練り歩くと

今日の天気

の結び技器 薬泉の等ちれきのもきでどけりけせらびひ切一づき 房禁馬一井中 町 東原大 産手立た 月を装備

京城府明治町一丁目(紫香町町)

體質

秋阿商會

魔器京城 二二五大番



は、1920年代の一部では、1920年代の一部では、1920年代の一部では、1920年代の一部では、1920年代の一部では、1920年代の一部では、1920年のでは、1920年の一部では、1920年の一部では、1920年の一部では、1920年の一部では、1920年の一部では、1920年のでは、1920年の一部では、1920年の一部では、1920年の一部では、1920年の一部では、1920年のでは、1920年 お茶は本町五清元園

化柳病 專門

大日本製糖株式會社 一名義書換亭中山政告 一名義書換亭中山政族 BRISIN 横道 PRE 村上龍 藏小兒科 医院 南本

電量の音楽を呼り、人で言葉の の語の大安内研釈を併うが代決さ の語の大安内研釈を併うが代決さ の語の大安内研釈を行うが、 の語の大安内研究を行うが、 の語の大安内研究を行うが、 の語の大安内研究を行うが、 の語の大安内研究を行うが、 の語の大安内研究を行うが、 の語の大安内研究を行うが、 の語の大安内研究を行うが、 の語の大安内研究を行うが、 の語の大安内研究を行うが、 の音の大安内研究を行うが、 の音の大安内研究を行うが、 の音の大安内研究を行うが、 の音の大安内研究を行うが、 の音の大安内研究を行うが、 の音の大安内研究を行うが、 の音の大安内研究を行うが、 の音の大安内研究を行うが、 の音の大安内研究を行うが、 の音の大安内で、 の音の大安内で の のまたっ ※ 京日案内 日間局別意味全証リーメン

告に限り特に表示に、温成す毎期五十銭だろは一回年に五十銭だろは一回年に五十五號活字十・字語一回五行一

及長醫

田中丸病院

」ぬらな斷油らかれこ

際官、経官支炎、百日咳、肺炎の後がに一条良い調子高は吸入であります。それには最も進步せる最も最大なの政へ開として 専門諸大家御推奨の昭和吸入器 を御宮田下さい。

煮見

物防と手営の御準備は!

しい感胃と肺炎!

質問語品等買入

女 中 込用が選より出入機能が行き希望の方は増大門上支紙脈が行き希望の方は増大門上支紙脈が行きが発

一、とん生姿勢でも自由自在版人出来る 一、生ん生姿勢でも自由自在版人出来る 一、世界人中アットへ消滅が飛び出され 「一、現人中アット、消滅が飛び出され

超大層場即士 正。 部分品の取符へが出来る

理主力 金融加資門体税取扱 と カネコ方 山 等 カネコ方 山 等

旅

都島町 菜は宝飯田 (本本) 日本 (本 部島前 草津屋駅 京城府地町一丁目九二 京城府地町一丁目九二

京城府南金町一ノニーハ

型語思 名意 森電機商會 電話本局 宝云里() 富士電機製造株式会社



あたしわ、さつき高木の家を訪

今日は神田の伯父さまの御招待

勝珰

ハッキリ紀入ノ客)、

十四日番組

ルテスト 容風 亨 郷 橋

童唱歌コンクール (札幌) (仙午前九時三〇分 (各局) 第五回兒

大衆演藝の夕

十六日き、物

革命の大膳 (東) 時期解説

「脳されないわ、あたし。お伝さ

午前七時一分(東) 基礎帰路勝座 (二十二) 九山順大助 (二十二) 九山順大助 (三十二) 八郎 (北京) 明の修義 大 (三十二) 八郎 (東京) デオ・監接 (三十二) 八郎 (東京) デオ・監接 (三十二) 八郎 (東京) デオ・監接 (三十二) 八郎 (東京) 元 (東京) 元 (同九時 (王) 所生メモ (三十二) 元 (東京) 元 (土曜日) 放送

中華

中後 一時10分(釜) 新活網釜 に同一時五0分 ラグビー基合質別 に同一時五0分 ラグビー基合質別 に同一時五0分 ラグビー基合質別 がビー型型成英門 養正高質別 がビー型型成英門 養正高質別

| 同九時 | O分 (大)

伊麥 AKアンサンブル 同野時三〇分(東)國民歌謡 **PGLオーケストラー後等時五分(東)極音樂・米定** 古島神で関風に激ひ難破した。そ 古島島民の英雄附近野によって教一だいと思ひます。

舞臺劇(東京、歌舞伎座より)

給本大功記尼ヶ崎の場

村

羽

右^菊左 南五南

同二時(東) 新人の時間 トルス トイの解人観 米リニミートイの解人間 ドルス

費用されんとしてゐる秋、近個脚海外進出の器がたてられ正と

宗代争弱血践當

(23)

とうへましたが、塩合 上つて、敵の様子を なの様子を

消費時間

夜間の動めは一頭にわるい、朝

で立てなほせ

製造元

回

生

堂

元朝代現店出

京城本町 本

木

村

房

脈對京城 藥

四五七番

婦人の

-ルストイ

三回。三回。五回。十四

各地薬店にあり

老解酒

参月五日及九月五日ノ近回ニ各共||安日ヨリ仮垣 翌日三リ仮垣 翌日ご之ヲ附シ毎年|||支統ノ方法及排風利息へ發行日ノ

殺然として斯

いいとは五十二 殻備す にて優秀 れ者なり

爾福·屋古名·户神·京東 天泰·建大·城京·北台 | 會商スリイ 店理代總洲滿及本日

ドする 三八年

店商生柳·店賣販手一本日